

公立大学法人青森公立大学  
平成24年度 業務実績報告書

平成25年6月

公立大学法人青森公立大学

# 目 次

|   | ページ |
|---|-----|
| ◎法人の概要                                  |     |
| ①基本情報                                   | 1   |
| ②組織・人事情報                                | 1   |
| ③学生に関する情報                               | 1   |
| ④主な資産（土地・建物）                            | 2   |
| ⑤理事会等の開催状況                              | 4   |
| ⑥2013年度青森公立大学入学者選抜実施状況                  | 7   |
| ⑦2012年度青森公立大学卒業・修了者就職状況                 | 12  |
| 別紙1（公立大学法人青森公立大学 組織図）                   | 14  |
| 別紙2（公立大学法人青森公立大学 役員・部局長・審議会名簿）          | 15  |
| ◎業務実績                                   |     |
| I 全体評価（全体的実施状況）                         | 17  |
| II 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画        |     |
| 1 教育に関する目標を達成するための計画                    | 18  |
| 2 研究に関する目標を達成するための計画                    | 28  |
| 3 地域貢献に関する目標を達成するための計画                  | 31  |
| III 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画        | 36  |
| IV 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画              | 40  |
| V 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画 | 44  |
| VI その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画            | 46  |

## ◎法人の概要

### ①基本情報

- 1) 法人名： 公立大学法人青森公立大学
- 2) 所在地： 青森県青森市大字合子沢字山崎 1 5 3 番地 4
- 3) 設立団体： 青森市
- 4) 設立年月日： 平成 2 1 年 4 月 1 日
- 5) 沿革： 平成 5 年 4 月 青森地域広域事務組合を設置者として青森公立大学開学  
平成 9 年 4 月 青森公立大学大学院経営経済学研究科(修士)開設  
平成10年 4 月 青森公立大学地域研究センター開設  
平成17年12月 青森駅前再開発ビル(アウガ)に「まちなカラボ」開設  
平成18年 4 月 経営経済学科を経営学科、経済学科、地域みらい学科に改編  
平成19年 4 月 大学院経営経済学研究科(修士)を区分制博士課程に課程変更  
平成21年 4 月 公立大学法人へ移行  
” 教職課程(高校商業・高校公民 1 種免許及び専修免許)を開設

### ②組織・人員情報

- 1) 組織図： 別紙 1 参照
- 2) 役員名簿： 別紙 2 参照
- 3) 教職員数： 教員 39名 (教授：21名 准教授：10名 講師：8名)  
(平成25年3月31日現在) 職員 23名

### ③学生に関する情報

- 1) 学部等の構成：経営経済学部 経営経済学科・経営学科・経済学科・地域みらい学科  
経営経済学研究科 経営経済学専攻 博士前期課程・博士後期課程

|         |          |        |   |         |      |
|---------|----------|--------|---|---------|------|
| 2) 学生数： | 経営経済学部   | 1,311名 | 〔 | 経営経済学科  | 2名   |
|         |          |        |   | 経営学科    | 575名 |
|         |          |        |   | 経済学科    | 550名 |
|         |          |        |   | 地域みらい学科 | 184名 |
|         | 経営経済学研究科 | 21名    | 〕 | 博士前期課程  | 13名  |
|         |          |        |   | 博士後期課程  | 8名   |

合計 1,332名

#### ④主要な資産

##### 1) 土地

| 所在地                | 現況地目 | 地積 (㎡)     |
|--------------------|------|------------|
| 青森市大字合子沢字山崎152番6   | 原野   | 178,176.00 |
| 青森市大字合子沢字山崎152番8   | 原野   | 10,408.00  |
| 青森市大字合子沢字山崎152番9   | 原野   | 35,585.00  |
| 青森市大字合子沢字山崎153番1   | 原野   | 56,381.00  |
| 青森市大字合子沢字山崎153番2   | 原野   | 11,020.00  |
| 青森市大字合子沢字山崎153番3   | 原野   | 16,085.00  |
| 青森市大字合子沢字山崎153番4   | 原野   | 26,230.00  |
| 青森市大字合子沢字山崎153番6   | 原野   | 5,644.00   |
| 青森市大字合子沢字山崎153番8   | 原野   | 6,051.00   |
| 青森市大字合子沢字山崎156番46  | 原野   | 107.00     |
| 青森市大字合子沢字山崎156番47  | 原野   | 894.00     |
| 青森市大字合子沢字山崎156番48  | 原野   | 1,500.00   |
| 青森市大字合子沢字山崎186番36  | 原野   | 31,483.00  |
| 青森市大字合子沢字山崎186番108 | 原野   | 3,988.00   |
| 青森市大字合子沢字山崎186番109 | 原野   | 3.65       |
| 青森市大字合子沢字山崎186番110 | 原野   | 13.00      |
| 青森市大字合子沢字山崎186番112 | 原野   | 12,948.00  |
| 青森市大字合子沢字山崎186番114 | 原野   | 950.00     |
| 青森市大字合子沢字山崎220番2   | 原野   | 2,592.00   |
| 青森市大字合子沢字山崎220番86  | 原野   | 3,371.00   |
| 青森市大字合子沢字山崎220番110 | 原野   | 1,381.00   |
| 青森市大字合子沢字山崎220番111 | 原野   | 950.00     |
| 青森市大字合子沢字山崎220番112 | 原野   | 380.00     |
| 青森市大字合子沢字山崎220番113 | 原野   | 1,228.00   |
| 青森市大字合子沢字山崎220番114 | 原野   | 1,465.00   |
| 青森市大字合子沢字山崎222番2   | 原野   | 2,176.00   |
| 青森市大字合子沢字山崎223番2   | 原野   | 1,264.00   |
| 青森市大字合子沢字山崎223番5   | 原野   | 2.25       |
| 青森市大字合子沢字山崎324番1   | 原野   | 2,064.00   |
| 青森市大字合子沢字山崎324番2   | 原野   | 675.00     |
| 青森市大字横内字桜峰122番155  | 山林   | 4,384.00   |
| 青森市大字横内字桜峰122番283  | 山林   | 848.00     |
| 青森市大字雲谷字山吹92番21    | 原野   | 40,064.00  |
| 青森市緑一丁目8番9         | 宅地   | 1,803.29   |
| 青森市緑一丁目13番6        | 宅地   | 1,038.57   |
| 青森市緑二丁目17番4        | 宅地   | 1,783.28   |
| 青森市桂木三丁目25番32      | 宅地   | 670.96     |
|                    | 合計   | 465,607.00 |

## 2) 建物

| 種 別             | 所 在 地               | 構 造                  | 延床面積(m <sup>2</sup> ) |
|-----------------|---------------------|----------------------|-----------------------|
| 校舎棟             | 青森市大字合子沢字山崎153番地4ほか | 鉄筋コンクリート造<br>陸屋根 5階建 | 13,769.08             |
| 体育館棟            | 青森市大字合子沢字山崎152番地9   | 鉄筋コンクリート造<br>陸屋根 2階建 | 3,610.92              |
| 大学院棟            | 青森市大字合子沢字山崎153番地1ほか | 鉄筋コンクリート造<br>陸屋根 3階建 | 2,876.78              |
| 交流会館            | 青森市大字合子沢字山崎153番地1ほか | 鉄筋コンクリート造<br>陸屋根 3階建 | 4,414.22              |
| 交流会館講堂          | 青森市大字合子沢字山崎152番地6ほか | 鉄筋コンクリート造<br>陸屋根 3階建 | 1,935.67              |
| 国際交流ハウス         | 青森市大字雲谷字山吹92番地21    | 木造亜鉛メッキ鋼板葺<br>2階建    | 1,679.00              |
| 国際芸術センター青森      | 青森市大字合子沢字山崎153番地1ほか | 鉄筋コンクリート造<br>陸屋根 2階建 | 3,604.88              |
| 教員宿舎<br>共同住宅1号棟 | 青森市緑一丁目8番地9         | 鉄筋コンクリート造<br>陸屋根 2階建 | 1,961.60              |
| 教員宿舎<br>共同住宅2号棟 | 青森市緑二丁目17番地4        | 鉄筋コンクリート造<br>陸屋根 2階建 | 1,076.20              |
| 教員宿舎<br>共同住宅3号棟 | 青森市桂木三丁目25番地32      | 鉄筋コンクリート造<br>陸屋根 2階建 | 587.52                |
| 教員宿舎<br>共同住宅4号棟 | 青森市緑一丁目13番地6        | 鉄筋コンクリート造<br>陸屋根 2階建 | 824.88                |
| 教員宿舎<br>学長舎     | 青森市緑二丁目17番地4        | 木造亜鉛メッキ鋼板葺<br>平家建    | 194.40                |
|                 |                     | 合 計                  | 36,535.15             |

## ⑤理事会等の開催状況

### 1) 理事会

| 開催日                       | 審議事項   |
|---------------------------|--|
| 第1回【持回り開催】<br>平成24年 4月25日 | 議案第1号 公立大学法人青森公立大学学芸員等の給与に関する規程の一部改正について<br>議案第2号 公立大学法人青森公立大学国際芸術センター青森技術員嘱託規程の一部改正について<br>議案第3号 公立大学法人青森公立大学非常勤嘱託職員嘱託規程の一部改正について<br>議案第4号 公立大学法人青森公立大学常勤嘱託職員就業規則の一部改正について  |
| 第2回<br>平成24年 6月28日        | 議案第5号 平成23年度決算について<br>議案第6号 平成23年度事業年度評価（業務実績報告書）について<br>議案第7号 学芸員の再任について  |
| 第3回<br>平成24年11月30日        | 議案第8号 平成24年度補正予算について<br>議案第9号 平成25年度当初予算編成方針について<br>議案第10号 平成25年度年度計画の策定スケジュールについて<br>議案第11号 公立大学法人青森公立大学職員給与規程等の一部改正について<br>議案第12号 教員職員の採用について<br>議案第13号 教員職員の再任について  |
| 第4回<br>平成25年 2月28日        | 議案第14号 教員職員の採用について<br>議案第15号 専任事務職員の採用について   |
| 第5回<br>平成25年 3月26日        | 議案第16号 平成25年度予算について<br>議案第17号 平成25年度計画について<br>議案第18号 教員職員の退職について<br>議案第19号 研究職員の退職について<br>議案第20号 公立大学法人青森公立大学職員就業規則の一部を改正する規則の制定について<br>議案第21号 公立大学法人青森公立大学職員給与規程の一部を改正する規程の制定について<br>議案第22号 公立大学法人青森公立大学役員報酬規程の一部を改正する規程の制定について<br>議案第23号 公立大学法人青森公立大学職員退職手当規程の一部を改正する規程の制定について<br>議案第24号 公立大学法人青森公立大学理事長及び副理事長の退職手当に関する規程の一部を改正する規程の制定について<br>議案第25号 公立大学法人青森公立大学職員兼業規程の一部を改正する規程の制定について |

## 2) 経営審議会

| 開催日                       | 審議事項   |
|---------------------------|--|
| 第1回【持回り開催】<br>平成24年 4月25日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 公立大学法人青森公立大学学芸員等の給与に関する規程の一部改正について</li> <li>② 公立大学法人青森公立大学国際芸術センター青森技術員嘱託規程の一部改正について</li> <li>③ 公立大学法人青森公立大学非常勤嘱託職員嘱託規程の一部改正について</li> <li>④ 公立大学法人青森公立大学常勤嘱託職員就業規則の一部改正について</li> </ul>  |
| 第2回<br>平成24年 6月28日        | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 平成23年度決算について</li> <li>② 平成23年度事業年度評価（業務実績報告書）について</li> </ul>  |
| 第3回<br>平成24年11月30日        | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 平成25年度当初予算編成方針について</li> <li>② 平成25年度年度計画の策定スケジュールについて</li> <li>③ 公立大学法人青森公立大学職員給与規程等の一部改正について</li> </ul>  |
| 第4回<br>平成25年 2月28日        | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 専任事務職員の採用について</li> </ul>  |
| 第5回<br>平成25年 3月26日        | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 平成25年度予算について</li> <li>② 平成25年度計画について</li> <li>③ 公立大学法人青森公立大学職員就業規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>④ 公立大学法人青森公立大学職員給与規程の一部を改正する規程の制定について</li> <li>⑤ 公立大学法人青森公立大学役員報酬規程の一部を改正する規程の制定について</li> <li>⑥ 公立大学法人青森公立大学職員退職手当規程の一部を改正する規程の制定について</li> <li>⑦ 公立大学法人青森公立大学理事長及び副理事長の退職手当に関する規程の一部を改正する規程の制定について</li> <li>⑧ 公立大学法人青森公立大学職員兼業規程の一部を改正する規程の制定について</li> </ul> |

### 3) 教育研究審議会

| 開催日                                | 審議事項  |
|------------------------------------|---|
| 第1回<br>平成24年 4月18日                 | ① 教育研究審議会の委員について<br>② 議長の職務代理者の委嘱について<br>③ 人事委員会の委員の選出について<br>④ 2012年度地域連携センターの事業について<br>⑤ 大学院特待奨学生の申請募集及び審査方法について  |
| 第1回【臨時会】<br>平成24年 5月16日            | ① 2012年度図書予算配分について  |
| 第2回<br>平成24年 6月20日                 | ① 平成23年度事業年度評価（業務実績報告書）について   |
| 第2回【臨時会】<br>【持回り開催】<br>平成24年 7月 4日 | ① 秋のアーティスト・イン・レジデンス（公募）事業におけるアーティストの決定（案）について   |
| 第3回【臨時会】<br>平成24年 7月18日            | ① ACAC運営会議におけるカフェ、ショップ創設の方向性について  |
| 第3回<br>平成24年 9月19日                 | ① 自己評価としての教員業績評価の方法について<br>② 平成25年度の教員研究費の配分方法について<br>③ ACACの平成25年度の事業計画案等について  |
| 第4回【臨時会】<br>平成24年10月17日            | ① 学部長候補者推薦委員会の設置について  |
| 第5回【臨時会】<br>平成24年11月21日            | ① 研究科長候補者推薦委員会の設置について<br>② 教員の採用に係る業績審査委員会の審査結果について<br>③ 教員の再任に係る業績審査委員会の審査結果について<br>④ 国際芸術センター青森 平成24年度事業計画1～3月開催プログラム及びアーティストについて<br>⑤ 国際芸術センター青森 カフェ創設に係る経費等について |
| 第4回<br>平成24年12月12日                 | ① 2013年度学事暦について   |
| 第6回【臨時会】<br>平成25年 1月16日            | ① 教員の採用に係る業績審査委員会の審査結果について  |
| 第5回<br>平成25年 2月13日                 | ① 図書館長の選考について<br>② 地域連携センター長の選考について<br>③ 学生の授業欠席の取扱いについて<br>④ 2013年度大学院入学者選抜について  |
| 第7回【臨時会】<br>【持回り開催】<br>平成25年 2月21日 | ① 2013年度大学院入学者選抜（第Ⅲ期募集）の実施について（案）   |
| 第8回【臨時会】<br>平成25年 3月13日            | ① ゲストスピーカーについて<br>② 公立大学法人青森公立大学 平成25年度計画案について<br>③ 国際芸術センター青森 平成25年度事業計画案について  |

⑥ 2013年度(平成25年度)青森公立大学入学者選抜実施状況【経営経済学部】

| 選 抜 区 分          |          | 試 験 日    | 募 集 人 員 | 志 願 者 数                    | 受 験 者 数                    | 合 格 者 数                    | 入 学 者 数                    | 出 身 地 等 内 訳  | 備 考                       |
|------------------|----------|----------|---------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|--|---------------------------|
| 推 薦 入 試          | 学校推薦(県内) | —        | 115 名   | 139 名<br>( 61 )            | 139 名<br>( 61 )            | 127 名<br>( 57 )            | 127 名<br>( 57 )            | 東青: 51<br>県内: 76<br>県外: 0                                  |                           |
|                  | 学校推薦(県外) | —        | 15 名    | 20 名<br>( 14 )             | 東青: 0<br>県内: 0<br>県外: 20                                   |                           |
|                  | 小 計      |          | 130 名   | 159 名<br>( 75 )            | 159 名<br>( 75 )            | 147 名<br>( 71 )            | 147 名<br>( 71 )            | 東青: 51<br>県内: 76<br>県外: 20                                 |                           |
| A<br>O<br>選<br>抜 | I 期      | AO選抜 I 期 | 9/10    | 30 名                       | 65 名<br>( 24 )             | 65 名<br>( 24 )             | 33 名<br>( 18 )             | 33 名<br>( 18 )   | 東青: 2<br>県内: 11<br>県外: 20 |
|                  | II 期     | 海外帰国子女   | 12/7    | 若干名                        | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]                                      |                           |
|                  |          | 社会人      |         | 若干名                        | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]                                      |                           |
|                  |          | 外国人留学生   |         | 若干名                        | 4 名<br>( 2 )<br>[ 3 ]      | 4 名<br>( 2 )<br>[ 3 ]      | 1 名<br>( 1 )<br>[ 1 ]      | 1 名<br>( 1 )<br>[ 1 ]                                      | ※ 大韓民国: 1                 |
|                  | 小 計      |          | 30+若干名  | 69 名<br>( 26 )<br>[ 3 ]    | 69 名<br>( 26 )<br>[ 3 ]    | 34 名<br>( 19 )<br>[ 1 ]    | 34 名<br>( 19 )<br>[ 1 ]    | 東青: 2<br>県内: 11<br>県外: 21                                  |                           |
| 一<br>般<br>選<br>抜 | 前期日程     | 2/25     | 130 名   | 442 名<br>( 124 )<br>[ 33 ] | 419 名<br>( 116 )<br>[ 32 ] | 190 名<br>( 66 )<br>[ 19 ]  | 140 名<br>( 47 )<br>[ 15 ]  | 東青: 22<br>県内: 37<br>県外: 81                                 |                           |
|                  | 後期日程     | —        | 10 名    | 80 名<br>( 25 )<br>[ 10 ]   | 80 名<br>( 25 )<br>[ 10 ]   | 10 名<br>( 5 )<br>[ 1 ]     | 1 名<br>( 1 )<br>[ 0 ]      | 東青: 0<br>県内: 0<br>県外: 1                                    |                           |
|                  | 小 計      |          | 140 名   | 522 名<br>( 149 )<br>[ 43 ] | 499 名<br>( 141 )<br>[ 42 ] | 200 名<br>( 71 )<br>[ 20 ]  | 141 名<br>( 48 )<br>[ 15 ]  | 東青: 22<br>県内: 37<br>県外: 82                                 |                           |
| 総 計              |          |          | 300 名   | 750 名<br>( 250 )<br>[ 46 ] | 727 名<br>( 242 )<br>[ 45 ] | 381 名<br>( 161 )<br>[ 21 ] | 322 名<br>( 138 )<br>[ 16 ] | 東青: 75 ( 23.3 %)<br>県内: 124 ( 38.5 %)<br>県外: 123 ( 38.2 %) |                           |
|                  |          |          |         |                            |                            | 昨 年 度                      | 337 名<br>( 146 )<br>[ 10 ] | 東青: 80 ( 23.8 %)<br>県内: 115 ( 34.1 %)<br>県外: 142 ( 42.1 %) |                           |

(注) 1 ( )は女の内数、[ ]は卒業生の内数を表す。  
2 ※大韓民国は県外に含めた。

## 2013年度(平成25年度)青森公立大学入学者選抜実施状況【経営学科】

| 選 抜 区 分          |          | 試 験 日    | 募 集 人 員 | 志 願 者 数                    | 受 験 者 数                    | 合 格 者 数                   | 入 学 者 数                  | 出 身 地 等 内 訳  | 備 考                                |  |
|------------------|----------|----------|---------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|--------------------------|--|------------------------------------|--|
| 推 薦 入 試          | 学校推薦(県内) | —        | 50 名    | 66 名<br>( 33 )             | 66 名<br>( 33 )             | 55 名<br>( 30 )            | 55 名<br>( 30 )           | 東青: 28<br>県内: 27<br>県外: 0                                | 【志願者・受験者のうち】<br>8名(男6、女2):経済で合格・手続 |  |
|                  | 学校推薦(県外) | —        | 6 名     | 9 名<br>( 5 )               | 9 名<br>( 5 )               | 8 名<br>( 5 )              | 8 名<br>( 5 )             | 東青: 0<br>県内: 0<br>県外: 8                                  | 【志願者・受験者のうち】<br>1名(男):経済で合格・手続     |  |
|                  | 小 計      |          |         | 56 名                       | 75 名<br>( 38 )             | 75 名<br>( 38 )            | 63 名<br>( 35 )           | 63 名<br>( 35 )   | 東青: 28<br>県内: 27<br>県外: 8          |  |
| A<br>O<br>選<br>抜 | I 期      | AO選抜 I 期 | 9 名     | 24 名<br>( 9 )              | 24 名<br>( 9 )              | 10 名<br>( 6 )             | 10 名<br>( 6 )            | 東青: 0<br>県内: 2<br>県外: 8                                  |                                    |  |
|                  | II 期     | 海外帰国子女   | 12/7    | 若干名                        | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]      | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]     | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]    | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]                                    |                                    |  |
|                  |          | 社会人      |         | 若干名                        | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]      | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]     | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]    | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]                                    |                                    |  |
|                  |          | 外国人留学生   |         | 若干名                        | 4 名<br>( 2 )<br>[ 3 ]      | 4 名<br>( 2 )<br>[ 3 ]     | 1 名<br>( 1 )<br>[ 1 ]    | 1 名<br>( 1 )<br>[ 1 ]                                    | ※ 大韓民国: 1                          |  |
|                  | 小 計      |          |         | 9+若干名                      | 28 名<br>( 11 )<br>[ 3 ]    | 28 名<br>( 11 )<br>[ 3 ]   | 11 名<br>( 7 )<br>[ 1 ]   | 11 名<br>( 7 )<br>[ 1 ]                                   | 東青: 0<br>県内: 2<br>県外: 9            |  |
| 一<br>般<br>選<br>抜 | 前期日程     | 2/25     | 60 名    | 198 名<br>( 60 )<br>[ 15 ]  | 185 名<br>( 55 )<br>[ 14 ]  | 88 名<br>( 33 )<br>[ 10 ]  | 62 名<br>( 25 )<br>[ 7 ]  | 東青: 9<br>県内: 20<br>県外: 33                                |                                    |  |
|                  | 後期日程     | —        | 5 名     | 32 名<br>( 13 )<br>[ 3 ]    | 32 名<br>( 13 )<br>[ 3 ]    | 5 名<br>( 3 )<br>[ 0 ]     | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]    | 東青: 0<br>県内: 0<br>県外: 0                                  |                                    |  |
|                  | 小 計      |          |         | 65 名                       | 230 名<br>( 73 )<br>[ 18 ]  | 217 名<br>( 68 )<br>[ 17 ] | 93 名<br>( 36 )<br>[ 10 ] | 62 名<br>( 25 )<br>[ 7 ]                                  | 東青: 9<br>県内: 20<br>県外: 33          |  |
| 総 計              |          |          | 130 名   | 333 名<br>( 122 )<br>[ 21 ] | 320 名<br>( 117 )<br>[ 20 ] | 167 名<br>( 78 )<br>[ 11 ] | 136 名<br>( 67 )<br>[ 8 ] | 東青: 37 ( 27.2 %)<br>県内: 49 ( 36.0 %)<br>県外: 50 ( 36.8 %) |                                    |  |

(注) 1 ( )は女の内数、[ ]は卒業生の内数を表す。  
2 ※大韓民国は県外に含めた。

## 2013年度(平成25年度)青森公立大学入学者選抜実施状況【経済学科】

| 選 抜 区 分          |          | 試 験 日  | 募 集 人 員 | 志 願 者 数                   | 受 験 者 数                   | 合 格 者 数                   | 入 学 者 数                  | 出 身 地 等 内 訳  | 備 考                                |
|------------------|----------|--------|---------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|--|------------------------------------|
| 推薦入試             | 学校推薦(県内) | —      | 50 名    | 55 名<br>( 17 )            | 55 名<br>( 17 )            | 55 名<br>( 16 )            | 55 名<br>( 16 )           | 東青: 20<br>県内: 35<br>県外: 0                                | 【合格者・入学者のうち】<br>8名(男6、女2):経営で志願・受験 |
|                  | 学校推薦(県外) | —      | 6 名     | 7 名<br>( 5 )              | 7 名<br>( 5 )              | 8 名<br>( 5 )              | 8 名<br>( 5 )             | 東青: 0<br>県内: 0<br>県外: 8                                  | 【合格者・入学者のうち】<br>1名(男):経営で志願・受験     |
|                  | 小 計      |        |         | 56 名                      | 62 名<br>( 22 )            | 62 名<br>( 22 )            | 63 名<br>( 21 )           | 63 名<br>( 21 )   | 東青: 20<br>県内: 35<br>県外: 8          |
| A<br>O<br>選<br>抜 | I<br>期   | AO選抜I期 | 9 名     | 23 名<br>( 5 )             | 23 名<br>( 5 )             | 10 名<br>( 3 )             | 10 名<br>( 3 )            | 東青: 0<br>県内: 5<br>県外: 5                                  |                                    |
|                  | II<br>期  | 海外帰国子女 | 若干名     | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]     | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]     | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]     | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]    |  |                                    |
|                  |          | 社会人    | 若干名     | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]     | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]     | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]     | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]    |  |                                    |
|                  |          | 外国人留学生 | 若干名     | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]     | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]     | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]     | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]    |  |                                    |
|                  | 小 計      |        |         | 9+若干名                     | 23 名<br>( 5 )<br>[ 0 ]    | 23 名<br>( 5 )<br>[ 0 ]    | 10 名<br>( 3 )<br>[ 0 ]   | 10 名<br>( 3 )<br>[ 0 ]                                   | 東青: 0<br>県内: 5<br>県外: 5            |
| 一<br>般<br>選<br>抜 | 前期日程     | 2/25   | 60 名    | 213 名<br>( 51 )<br>[ 16 ] | 206 名<br>( 50 )<br>[ 16 ] | 88 名<br>( 27 )<br>[ 9 ]   | 70 名<br>( 19 )<br>[ 8 ]  | 東青: 12<br>県内: 15<br>県外: 43                               |                                    |
|                  | 後期日程     | —      | 5 名     | 48 名<br>( 12 )<br>[ 7 ]   | 48 名<br>( 12 )<br>[ 7 ]   | 5 名<br>( 2 )<br>[ 1 ]     | 1 名<br>( 1 )<br>[ 0 ]    | 東青: 0<br>県内: 0<br>県外: 1                                  |                                    |
|                  | 小 計      |        |         | 65 名                      | 261 名<br>( 63 )<br>[ 23 ] | 254 名<br>( 62 )<br>[ 23 ] | 93 名<br>( 29 )<br>[ 10 ] | 71 名<br>( 20 )<br>[ 8 ]                                  | 東青: 12<br>県内: 15<br>県外: 44         |
| 総 計              |          |        | 130 名   | 346 名<br>( 90 )<br>[ 23 ] | 339 名<br>( 89 )<br>[ 23 ] | 166 名<br>( 53 )<br>[ 10 ] | 144 名<br>( 44 )<br>[ 8 ] | 東青: 32 ( 22.2 %)<br>県内: 55 ( 38.2 %)<br>県外: 57 ( 39.6 %) |                                    |

(注) 1 ( )は女の内数、[ ]は卒業生の内数を表す。

## 2013年度(平成25年度)青森公立大学入学者選抜実施状況【地域みらい学科】

| 選 抜 区 分          |          | 試 験 日    | 募 集 人 員 | 志 願 者 数                 | 受 験 者 数                 | 合 格 者 数                 | 入 学 者 数                 | 出 身 地 等 内 訳   | 備 考                      |  |
|------------------|----------|----------|---------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|---|--------------------------|--|
| 推 薦 入 試          | 学校推薦(県内) | —        | 15 名    | 18 名<br>( 11 )          | 18 名<br>( 11 )          | 17 名<br>( 11 )          | 17 名<br>( 11 )          | 東青: 3<br>県内: 14<br>県外: 0                                |                          |  |
|                  | 学校推薦(県外) | —        | 3 名     | 4 名<br>( 4 )            | 東青: 0<br>県内: 0<br>県外: 4                                 |                          |  |
|                  | 小 計      |          |         | 18 名                    | 22 名<br>( 15 )          | 22 名<br>( 15 )          | 21 名<br>( 15 )          | 21 名<br>( 15 )  | 東青: 3<br>県内: 14<br>県外: 4 |  |
| A<br>O<br>選<br>抜 | I 期      | AO選抜 I 期 | 9/10    | 12 名                    | 18 名<br>( 10 )          | 18 名<br>( 10 )          | 13 名<br>( 9 )           | 13 名<br>( 9 )   | 東青: 2<br>県内: 4<br>県外: 7  |  |
|                  | II 期     | 海外帰国子女   | 12/7    | 若干名                     | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]                                   |                          |  |
|                  |          | 社会人      |         | 若干名                     | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]                                   |                          |  |
|                  |          | 外国人留学生   |         | 若干名                     | 0 名<br>( 0 )<br>[ 0 ]                                   |                          |  |
|                  | 小 計      |          |         | 12+若干名                  | 18 名<br>( 10 )<br>[ 0 ] | 18 名<br>( 10 )<br>[ 0 ] | 13 名<br>( 9 )<br>[ 0 ]  | 13 名<br>( 9 )<br>[ 0 ]                                  | 東青: 2<br>県内: 4<br>県外: 7  |  |
| 一<br>般<br>選<br>抜 | 前期日程     | 2/25     | 10 名    | 31 名<br>( 13 )<br>[ 2 ] | 28 名<br>( 11 )<br>[ 2 ] | 14 名<br>( 6 )<br>[ 0 ]  | 8 名<br>( 3 )<br>[ 0 ]   | 東青: 1<br>県内: 2<br>県外: 5                                 |                          |  |
|                  | 後期日程     | —        | — 名     | — 名<br>( — )<br>[ — ]   |   |                          |  |
|                  | 小 計      |          |         | 10 名                    | 31 名<br>( 13 )<br>[ 2 ] | 28 名<br>( 11 )<br>[ 2 ] | 14 名<br>( 6 )<br>[ 0 ]  | 8 名<br>( 3 )<br>[ 0 ]                                   | 東青: 1<br>県内: 2<br>県外: 5  |  |
| 総 計              |          |          | 40 名    | 71 名<br>( 38 )<br>[ 2 ] | 68 名<br>( 36 )<br>[ 2 ] | 48 名<br>( 30 )<br>[ 0 ] | 42 名<br>( 27 )<br>[ 0 ] | 東青: 6 ( 14.3 %)<br>県内: 20 ( 47.6 %)<br>県外: 16 ( 38.1 %) |                          |  |

(注) 1 ( )は女の内数、[ ]は卒業生の内数を表す。

## 2013年度(平成25年度)青森公立大学大学院入学者選抜実施状況

| 選 抜 区 分        |         | 試 験 日              | 募 集 人 員        | 志 願 者 数       | 受 験 者 数       | 合 格 者 数       | 入 学 者 数      | 出 身 地 等 内 訳   | 備 考  |
|----------------|---------|--------------------|----------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---|--|
| 前期課程<br>(修士課程) | 学内推薦選抜  | 第Ⅰ期募集<br>( 11/10 ) | 第Ⅰ期募集<br>8 名   | 0 名<br>( 0 )  | 0 名<br>( 0 )  | 0 名<br>( 0 )  | 0 名<br>( 0 ) | 東青: 0<br>県内: 0<br>県外: 0                               |  |
|                | 社会人選抜   | 第Ⅱ期募集<br>( 2/16 )  | 第Ⅱ期募集<br>5 名程度 | 6 名<br>( 1 )  | 6 名<br>( 1 )  | 6 名<br>( 1 )  | 6 名<br>( 1 ) | 東青: 3<br>県内: 2<br>県外: 1                               |  |
|                | 一般選抜    | 第Ⅲ期募集<br>( 3/17 )  | 第Ⅲ期募集<br>若干 名  | 1 名<br>( 1 )  | 1 名<br>( 1 )  | 1 名<br>( 1 )  | 0 名<br>( 0 ) | 東青: 0<br>県内: 0<br>県外: 0                               |  |
|                | 小 計     |                    |                | 8 名           | 7 名<br>( 2 )  | 7 名<br>( 2 )  | 7 名<br>( 2 ) | 6 名<br>( 1 )  | 東青: 3<br>県内: 2<br>県外: 1                              |
| 後期課程<br>(博士課程) | 社会人特別選抜 | 第Ⅰ期募集<br>( 11/10 ) | 第Ⅰ期募集<br>2 名   | 5 名<br>( 0 )  | 3 名<br>( 0 )  | 3 名<br>( 0 )  | 3 名<br>( 0 ) | 東青: 0<br>県内: 1<br>県外: 2                               |  |
|                | 一般選抜    | 第Ⅱ期募集<br>( 2/16 )  | 第Ⅱ期募集<br>2 名   | 0 名<br>( 0 )  | 0 名<br>( 0 )  | 0 名<br>( 0 )  | 0 名<br>( 0 ) | 東青: 0<br>県内: 0<br>県外: 0                               |  |
|                |         | 第Ⅲ期募集<br>( 3/17 )  | 第Ⅲ期募集<br>若干 名  | 0 名<br>( 0 )  | 0 名<br>( 0 )  | 0 名<br>( 0 )  | 0 名<br>( 0 ) | 東青: 0<br>県内: 0<br>県外: 0                               |  |
|                | 小 計     |                    |                | 2 名           | 5 名<br>( 0 )  | 3 名<br>( 0 )  | 3 名<br>( 0 ) | 3 名<br>( 0 )  | 東青: 0<br>県内: 1<br>県外: 2                              |
| 合 計            |         |                    | 10 名           | 12 名<br>( 2 ) | 10 名<br>( 2 ) | 10 名<br>( 2 ) | 9 名<br>( 1 ) | 東青: 3 ( 33.3 %)<br>県内: 3 ( 33.3 %)<br>県外: 3 ( 33.3 %) |  |
|                |         |                    |                |               |               |               | 昨年度          | 5 名<br>( 0 )  | 東青: 5 ( 100.0 %)<br>県内: 0 ( 0.0 %)<br>県外: 0 ( 0.0 %) |

(注) ( )は女子内数を表す。

⑦ 2012年(平成24年)度 青森公立大学卒業・修了者内定状況

平成25年5月1日 確定

1. 学 部

4年次 在籍者 332人  
 卒業者 304人 (05年度生: 男1人 06年度生: 男1人 女1人 08年度生: 男6人 女2人 09年度生: 男156人 女137人)  
 就職希望者 279人 就職以外 25人 ⇒ 進学希望者 2人 その他 23人  
 (うち自営業) 1人 (内訳) 大学院進学希望 0人 資格取得優先 3人 留学希望(予定) 1人  
 専門学校等進学希望 2人 公務員再挑戦 6人 一時的 9人 その他 4人

1) 就職状況(昨年同時期との比較)

| 区 分 | 就職希望者(人)  |           |     | 就職決定者(人)  |           |     | 決定率(%)         |                |       |       |
|-----|-----------|-----------|-----|-----------|-----------|-----|----------------|----------------|-------|-------|
|     | 平成24年度(A) | 平成23年度(B) | A-B | 平成24年度(E) | 平成23年度(F) | E-F | 平成24年度(I)(E/A) | 平成23年度(J)(F/B) | I-J   |       |
| 男子  | 経営経済      | 1         | 2   | △ 1       | 1         | 2   | △ 1            | 100.0          | 100.0 | 0.0   |
|     | 経営        | 64        | 63  | 1         | 64        | 61  | 3              | 100.0          | 96.8  | 3.2   |
|     | 経済        | 75        | 67  | 8         | 69        | 62  | 7              | 92.0           | 92.5  | △ 0.5 |
|     | 地域みらい     | 8         | 17  | △ 9       | 7         | 16  | △ 9            | 87.5           | 94.1  | △ 6.6 |
|     | 計         | 148       | 149 | △ 1       | 141       | 141 | 0              | 95.3           | 94.6  | 0.7   |
| 女子  | 経営経済      | 0         | 0   | 0         | 0         | 0   | 0              | 0.0            | 0.0   | 0.0   |
|     | 経営        | 62        | 59  | 3         | 57        | 52  | 5              | 91.9           | 88.1  | 3.8   |
|     | 経済        | 35        | 47  | △ 12      | 34        | 44  | △ 10           | 97.1           | 93.6  | 3.5   |
|     | 地域みらい     | 34        | 24  | 10        | 34        | 23  | 11             | 100.0          | 95.8  | 4.2   |
|     | 計         | 131       | 130 | 1         | 125       | 119 | 6              | 95.4           | 91.5  | 3.9   |
| 合計  | 279       | 279       | 0   | 266       | 260       | 6   | 95.3           | 93.2           | 2.1   |       |

学科毎内定状況

| 区分    | 就職希望者(人) | うち決定者(人) | 決定率(%) |
|-------|----------|----------|--------|
| 経営経済  | 1        | 1        | 100.0  |
| 経営    | 126      | 121      | 96.0   |
| 経済    | 110      | 103      | 93.6   |
| 地域みらい | 42       | 41       | 97.6   |
| 計     | 279      | 266      | 95.3   |

\* 就職決定者の本社所在地別

| 区 分 | 決定者(再掲) | 青森県への就職状況 |       |         |         |        |         | 北海道地区  |       | 東北地区(青森県以外) |       | 首都圏    |       | その他    |       |
|-----|---------|-----------|-------|---------|---------|--------|---------|--------|-------|-------------|-------|--------|-------|--------|-------|
|     |         | 管内(人)     | 管内(%) | 管内以外(人) | 管内以外(%) | 県内計(人) | 県内割合(%) | 就職者(人) | 割合(%) | 就職者(人)      | 割合(%) | 就職者(人) | 割合(%) | 就職者(人) | 割合(%) |
| 男   | 141     | 23        | 16.3  | 36      | 25.5    | 59     | 41.8    | 6      | 4.3   | 33          | 23.4  | 24     | 17.0  | 19     | 13.5  |
| 女   | 125     | 27        | 21.6  | 27      | 21.6    | 54     | 43.2    | 3      | 2.4   | 20          | 16.0  | 31     | 24.8  | 17     | 13.6  |
| 計   | 266     | 50        | 18.8  | 63      | 23.7    | 113    | 42.5    | 9      | 3.4   | 53          | 19.9  | 55     | 20.7  | 36     | 13.5  |

2) 学科別業種別内訳(進路決定者のみ)

| 区 分        | 卸売・小売業 | 金融・保険業 | サービス業(複合含む) | 製 造 業 | 公 務 | 建 設 業 | 電気・ガス | 運輸業 | 情報通信業 | 不動産業 | 飲食店・宿泊業 | 教育・学習支援業 | 医療・福祉 | 農林水産 | 計     |
|------------|--------|--------|-------------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|------|---------|----------|-------|------|-------|
| 経営経済       | 0      | 0      | 1           | 0     | 0   | 0     | 0     | 0   | 0     | 0    | 0       | 0        | 0     | 0    | 1     |
| 経営         | 33     | 26     | 18          | 10    | 7   | 3     | 0     | 1   | 6     | 2    | 4       | 2        | 9     | 0    | 121   |
| 経済         | 32     | 19     | 12          | 6     | 14  | 5     | 0     | 3   | 6     | 2    | 0       | 2        | 2     | 0    | 103   |
| 地域みらい      | 10     | 3      | 4           | 4     | 3   | 4     | 0     | 3   | 4     | 0    | 3       | 2        | 1     | 0    | 41    |
| 24年度決定者(人) | 75     | 48     | 35          | 20    | 24  | 12    | 0     | 7   | 16    | 4    | 7       | 6        | 12    | 0    | 266   |
| 構成比(%)     | 28.2   | 18.1   | 13.2        | 7.5   | 9.0 | 4.5   | 0.0   | 2.6 | 6.0   | 1.5  | 2.6     | 2.3      | 4.5   | 0.0  | 100.0 |

⑦ 2012年(平成24年)度 青森公立大学卒業・修了者内定状況

平成25年5月1日 確定

2. 大学院

修了者 1人(前期 女:1人)  
復職希望者 1人

1) 就職状況(昨年同時期との比較)

| 区 分 |    | 就職希望者(人)  |           |     | 就職決定者(人)  |           |     | 決定率(%)         |                |     |
|-----|----|-----------|-----------|-----|-----------|-----------|-----|----------------|----------------|-----|
|     |    | 平成24年度(A) | 平成23年度(B) | A-B | 平成24年度(E) | 平成23年度(F) | E-F | 平成24年度(G)(C/A) | 平成23年度(H)(D/B) | G-H |
| 男子  | 前期 | 0         | 1         | △ 1 | 0         | 0         | 0   | 0.0            | 0.0            | 0.0 |
|     | 後期 | 0         | 0         | 0   | 0         | 0         | 0   | 0.0            | 0.0            | 0.0 |
|     | 計  | 0         | 1         | △ 1 | 0         | 0         | 0   | 0.0            | 0.0            | 0.0 |
| 女子  | 前期 | 0         | 0         | 0   | 0         | 0         | 0   | 0.0            | 0.0            | 0.0 |
|     | 後期 | 0         | 0         | 0   | 0         | 0         | 0   | 0.0            | 0.0            | 0.0 |
|     | 計  | 0         | 0         | 0   | 0         | 0         | 0   | 0.0            | 0.0            | 0.0 |
| 合計  |    | 0         | 1         | △ 1 | 0         | 0         | 0   | 0.0            | 0.0            | 0.0 |

\* 就職決定者の本社所在地別

| 区 分 | 決定者(再掲) | 青森県への就職状況 |       |         |         |        |         | 北海道地区  |       | 東北地区(青森県以外) |       | 首都圏    |       | その他    |       |
|-----|---------|-----------|-------|---------|---------|--------|---------|--------|-------|-------------|-------|--------|-------|--------|-------|
|     |         | 管内(人)     | 管内(%) | 管内以外(人) | 管内以外(%) | 県内計(人) | 県内割合(%) | 就職者(人) | 割合(%) | 就職者(人)      | 割合(%) | 就職者(人) | 割合(%) | 就職者(人) | 割合(%) |
| 男   | 0       | 0         | 0.0   | 0       | 0.0     | 0      | 0.0     | 0      | 0.0   | 0           | 0.0   | 0      | 0.0   | 0      | 0.0   |
| 女   | 0       | 0         | 0.0   | 0       | 0.0     | 0      | 0.0     | 0      | 0.0   | 0           | 0.0   | 0      | 0.0   | 0      | 0.0   |
| 計   | 0       | 0         | 0.0   | 0       | 0.0     | 0      | 0.0     | 0      | 0.0   | 0           | 0.0   | 0      | 0.0   | 0      | 0.0   |

\* 参 考(平成23年度の就職状況・・・確定数値)

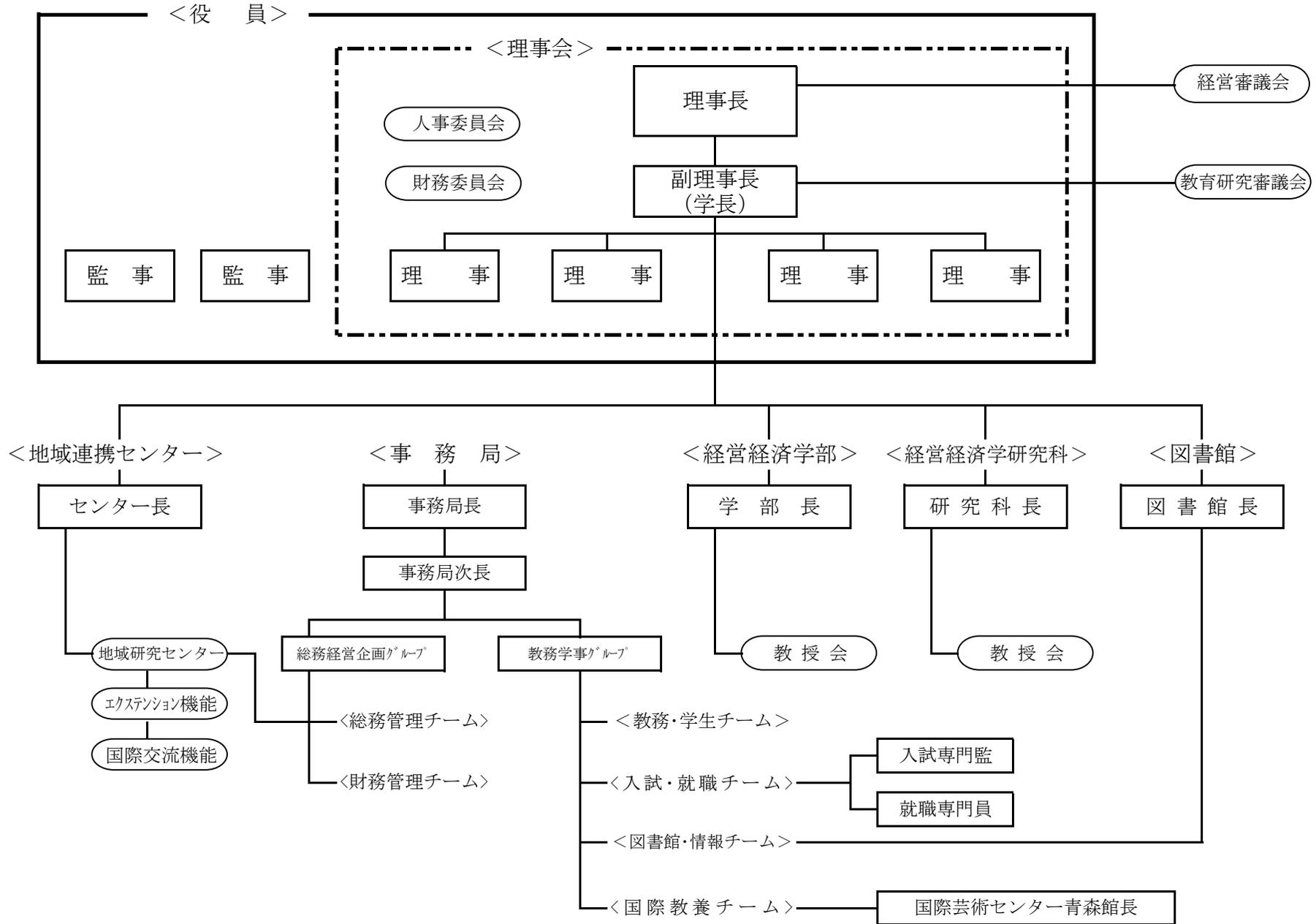
| 区分     | 修了者(人) | 就職希望者(人) | 就職者(人) | 就職率(%) | 管内 (人) | (%) | 管内以外(人) | (%) | 県内計(人) | (%) |
|--------|--------|----------|--------|--------|--------|-----|---------|-----|--------|-----|
| 平成23年度 | 4      | 1        | 0      | 0.0    | 0      | 0.0 | 0       | 0.0 | 0      | 0.0 |

2) 業種別内訳(昨年度の確定数値との比較)

| 区 分        | 卸売・小売業 | 金融・保険業 | サービス業<br>(複合含む) | 製 造 業 | 公 務 | 建 設 業 | 電気・ガス | 運輸業 | 情報通信業 | 不動産業 | 飲食店・宿泊業 | 教育・学習支援業 | 医療・福祉 | 農林水産 | 計   |
|------------|--------|--------|-----------------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|------|---------|----------|-------|------|-----|
| 24年度決定者(人) | 0      | 0      | 0               | 0     | 0   | 0     | 0     | 0   | 0     | 0    | 0       | 0        | 0     | 0    | 0   |
| 構成比(%)     | 0.0    | 0.0    | 0.0             | 0.0   | 0.0 | 0.0   | 0.0   | 0.0 | 0.0   | 0.0  | 0.0     | 0.0      | 0.0   | 0.0  | 0.0 |
| 23年度決定者(人) | 0      | 0      | 0               | 0     | 0   | 0     | 0     | 0   | 0     | 0    | 0       | 0        | 0     | 0    | 0   |
| 構成比(%)     | 0.0    | 0.0    | 0.0             | 0.0   | 0.0 | 0.0   | 0.0   | 0.0 | 0.0   | 0.0  | 0.0     | 0.0      | 0.0   | 0.0  | 0.0 |

公立大学法人青森公立大学 組織図

別紙 1



## 公立大学法人青森公立大学 役員・部局長・審議会名簿

## ◎法人役員

平成25年3月31日現在

| 職名      | 氏名    | 任期                   | 備考     |
|---------|-------|----------------------|--------|
| 理事長     | 福士耕司  | H23. 5. 1～H25. 3. 31 |        |
| 副理事長    | 香取薫   | H24. 4. 1～H28. 3. 31 | (学長)   |
| 理事(非常勤) | 對馬忠雄  | H21. 4. 1～H25. 3. 31 |        |
| 理事(非常勤) | 齊藤毅憲  | H21. 4. 1～H25. 3. 31 |        |
| 理事(非常勤) | 沼田廣   | H21. 4. 1～H25. 3. 31 |        |
| 理事      | 山科美奈子 | H21. 4. 1～H25. 3. 31 | (事務局長) |
| 監事(非常勤) | 九戸眞樹  | H23. 4. 1～H25. 3. 31 |        |
| 監事(非常勤) | 若山恵佐雄 | H23. 4. 1～H25. 3. 31 |        |

## ◎学長・部局長

| 職名        | 氏名    | 任期                   | 備考   |
|-----------|-------|----------------------|------|
| 学長        | 香取薫   | H24. 4. 1～H28. 3. 31 |      |
| 学部長       | 羽矢辰夫  | H23. 4. 1～H25. 3. 31 |      |
| 研究科長      | 河野秀孝  | H24. 4. 1～H25. 3. 31 |      |
| 図書館長      | 丁 圈 鎮 | H23. 4. 1～H25. 3. 31 |      |
| 地域連携センター長 | 香取薫   | H23. 4. 1～H25. 3. 31 | 学長兼務 |

## ◎経営審議会

| 職名 | 氏名    | 任期                    | 備考                          |
|----|-------|-----------------------|-----------------------------|
| 議長 | 福士耕司  | H23. 5. 1～H25. 3. 31  | 理事長<br>(定款 § 19② I)         |
| 委員 | 香取 薫  | H24. 4. 1～H28. 3. 31  | 副理事長<br>(定款 § 19② II)       |
| 委員 | 對馬忠雄  | H21. 4. 1～H25. 3. 31  | 理事<br>(定款 § 19② III)        |
| 委員 | 齊藤毅憲  | H21. 4. 1～H25. 3. 31  | 理事<br>(定款 § 19② III)        |
| 委員 | 沼田 廣  | H21. 4. 1～H25. 3. 31  | 理事<br>(定款 § 19② III)        |
| 委員 | 山科美奈子 | H21. 4. 1～H25. 3. 31  | 理事<br>(定款 § 19② III)        |
| 委員 | 空 席   | —                     | 理事長が指名する職員<br>(定款 § 19② IV) |
| 委員 | 佐藤三三  | H23. 5. 26～H25. 5. 25 | 法人役職員以外の有識者<br>(定款 § 19② V) |
| 委員 | 宇藤裕夫  | H23. 5. 26～H25. 5. 25 | 法人役職員以外の有識者<br>(定款 § 19② V) |

## ◎教育研究審議会

| 職名    | 氏名    | 任期                   | 備考                          |
|-------|-------|----------------------|-----------------------------|
| 議長    | 香取 薫  | H24. 4. 1～H28. 3. 31 | 学長<br>(定款 § 22② I)          |
| 職務代理者 | 羽矢辰夫  | H23. 4. 1～H25. 3. 31 | 学部長<br>(定款 § 22② II)        |
| 委員    | 齊藤毅憲  | H21. 4. 1～H25. 3. 31 | 学長が指名する理事<br>(定款 § 22② III) |
| 委員    | 河野秀孝  | H24. 4. 1～H25. 3. 31 | 研究科長<br>(定款 § 22② IV)       |
| 委員    | 丁 圈 鎮 | H23. 4. 1～H25. 3. 31 | 図書館長<br>(定款 § 22② IV)       |
| 委員    | 香取 薫  | H23. 4. 1～H25. 3. 31 | 地域連携センター長<br>(定款 § 22② IV)  |
| 委員    | 山科美奈子 | H23. 4. 1～H25. 3. 31 | 事務局長<br>(定款 § 22② IV)       |
| 委員    | 今 喜 典 | H23. 4. 1～H25. 3. 31 | 学部教授会選出<br>(定款 § 22② V)     |
| 委員    | 藤井一弘  | H23. 4. 1～H25. 3. 31 | 学部教授会選出<br>(定款 § 22② V)     |
| 委員    | 佐々木俊介 | H24. 4. 1～H25. 3. 31 | 研究科教授会選出<br>(定款 § 22② V)    |

## I 全体評価(全体的実施状況)

平成24年度の年度計画に対する業務実績の実施状況は概ね良好であるものの、前年度から散見される実施されていない項目については、PDCAサイクルに基づき再度検討を行った結果、対応すること自体適当でない判断されたものが幾つかあった。これらは、事業実施の当該年度において、中期目標・中期計画を策定した当時とは大学を取り巻く環境や状況が著しく変化した結果によるものである。今後、第二期中期目標・中期計画を策定する上での課題と考える。

教育に関する目標の達成については、学部において、東日本大震災による被災者への授業料の減免を引き続き実施したほか、退学勧告制度の改善や成績不振者に対する取り組みの強化、また、学部から大学院へ直接進学する学生に対する奨学生制度の創設を行った。大学院においては、大学院特待奨学生制度の運用を開始するなど、概ね良好な実施結果となった。しかしながら、計画の内容が策定した当初の状況から大きく変化し、対応すること自体適当でない判断した項目があった。

研究に関する目標の達成については、公開講座を引き続き強化する一方で、本学ホームページにて教員の研究成果のデータベースを構築し、内外に向けて発信することとした。また、研究活動については、研究推進会議を今年度で廃止し、戦略的研究助成事業として改編することで、研究活動の透明性と公平性をより一層図ることとした。

地域貢献に関する目標の達成については、簿記会計と語学のエクステンション教育の実施や高大連携特別講座、出前講座などの充実を図るとともに、国際交流のあり方についての抜本的な検討を行った。また、連携事業に関しては、引き続き他大学との単位互換を実施し、大学間連携の推進を図るとともに、本学の設置者である青森市、西目屋村の2つの自治体とは、新たに連携協定を締結したことで、本学の地域貢献の基盤体制が強化確立されたことで、今後、企業や自治体、地域住民とのより活発な交流活動が期待される。

業務運営に関する目標の達成については、季刊誌の発行や市議会への近況報告会の開催、さらにホームページの迅速な情報更新など、広報活動を強化し、大学の「見える化」に一層努めた。また、人事ルールの見直しを図り、とりわけ、非正規雇用職員の待遇については、労働契約法改正を踏まえ、雇用期間を1年から3年間に延長し、あるいは、長期にわたって勤務している者に対して継続雇用の道を開くなど、待遇改善に努めた。

財務内容に関する目標の達成については、国際芸術センター青森の「アーティスト・イン・レジデンス事業」が、文化庁の補助事業に採択されたほか、本学の産官学連携による人材育成事業が、文部科学省の補助事業に採択されるなど、外部資金の獲得に向けた成果が見られた。

自己点検・評価及び当該状況に係る情報提供、その他業務運営に関する目標の達成については、教員の自己評価についての検討を行い、新たな自己評価制度を設置した。一方で、施設の貸出基準を整理し、施設の有効活用を図る取り組みについては、検討した中で、様々な課題が浮かび上がったことから、平成25年度中の開始に向けて取り組んでいくこととした。

平成24年度 業務実績報告書

II 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画

1 教育に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容  | 年度計画の内容  | 業務の実績(計画の進捗状況)   | 自己<br>評価 | 備考   |
|---|--|--|----------|--|
| <p>(1)学生の育成に関する目標を達成するための措置</p> <p>【学士課程】</p> <p>◇教育成果を上げるための方策<br/>・学部としての教育目標を平成22年度内を目途に更新する。<br/>・各学科が育成すべき人材像を平成22年度内に明確化する。</p> <p>◇卒業後の進路などに関する方策<br/>・進路選択のための情報収集を拡充し、キャリア教育を体系化する。<br/>・インターンシップ制度を充実させる。<br/>・資格試験の支援対策を充実させる。</p> <p>◇教育の成果・効果の検証に関する方策<br/>・学生による授業評価を教育の改善に活用するシステムを平成23年度から実施する。<br/>・各種検定試験・資格試験の結果から、教育の成果・効果を明らかにする。<br/>・卒業生や就職先からの意見や評価を教育の改善に活用するシステムを平成23年度から実施する。<br/>・卒業生を対象とした研修会等の開催によるフォローアップ教育を充実させる。</p> | ◇教育成果を上げるための方策<br>更新した教育目標の周知を継続する。  | ホームページ等での公開を継続している。  | B        | ・ホームページ、<br>・大学パンフレット、<br>・入学者選抜要綱、<br>・学生便覧   |
|   | ◇明確化した育成すべき人材像の周知を継続する。  | ホームページ等での公開を継続している。  | B        | ・ホームページ、<br>・大学パンフレット、<br>・入学者選抜要綱、<br>・学生便覧   |
|   | ◇卒業後の進路などに関する方策<br>進路選択のための情報収集を充実させる取組みを継続する。                               | 昨年度に引き続き産学連携協議会を開催し、民間企業の人事担当者から本学学生の評価や産業界が求める人材像などを伺い、その内容については「就業力育成通信」を発行し、学生及びその父兄に対して情報提供を行った。 | B        | 第1回(2011.7.22)<br>第2回(2011.11.25)<br>第3回(2012.7.26)<br>第4回(2012.11.22)                             |
|   | ◇キャリア教育を教育課程の中で充実させる取組みを継続する。  | 平成23年度カリキュラム改正により、新たに設置されたキャリア教育科目群の各授業科目を、開講年次に合わせ、順次開講した。  | B        | ◆キャリア教育科目群<br>・「大学基礎演習」<br>・「キャリア形成論」<br>・「自治行政政策論」<br>・「事業論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」<br>・「インターンシップⅠ、Ⅱ」               |
|   | ◇インターンシップ制度を充実させる取組みを継続する。   | 平成23年度のカリキュラム改正により、「インターンシップⅠ、Ⅱ」を、キャリア教育科目群の中に組み入れ、授業を開講した。  | B        | ◆全学科の2年次科目に配置  |
|   | ◇資格試験の支援対策としてエクステンション教育の充実・強化を図る。  | 教員による簿記試験講座を充実させ実施した。  | A        | ◆春学期:<br>5/21~6/9(全20回)<br>◆秋学期:<br>2級 10/29~11/17(全20回)<br>3級 10/29~11/18(全21回)<br>※H23の総開催回数:54回 |
|   | ◇公務員試験予備校との連携による公務員試験対策講座を開催する。  | 平成24年4月より公務員試験対策に実績のある東京アカデミー青森校と連携し、青森県内だけでなく、国家公務員や地方自治体の試験情報の提供や面接や論文試験までサポートを行った。                | B        | 受講生:178名   |
|   | ◇教育の成果・効果の検証に関する方策<br>各種検定試験・資格試験の結果から、教育の成果・効果を明らかにするシステム作りを学務運営会議で検討に着手する。 | 本学の教育目標、教育方針、カリキュラム編成は、検定試験・資格試験の合格を目的としたものではないことから、システム構築の必要性がないと判断し、実行しないこととした。                    | A        | ①第14回戦略会議にて審議・承認(11/14)<br>②第2回近況報告会で報告(11/20)   |
|   | ◇卒業生を対象とした研修会等の開催について学務運営会議で検討に着手する。   | 同窓会総会を平成25年度に行うこととしたため、同窓会への卒業生を対象とした講演会等の開催について調整中である。  | C        | ◆同窓会事業検討委員会<br>①1月27日<br>②3月23日  |

平成24年度 業務実績報告書

Ⅱ 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画

1 教育に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容  | 年度計画の内容  | 業務の実績(計画の進捗状況)   | 自己<br>評価 | 備考  |
|---|--|--|----------|---|
| <p>【大学院課程】</p> <p>◇教育成果を上げるための方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期課程は、専門応用力と実践力を重視する教育体制を充実させる。</li> <li>・後期課程は、自立的な研究能力を修得する教育体制を充実させる。</li> <li>・社会人のリカレント教育に対する支援を充実させる。</li> </ul> <p>◇教育の成果・効果の検証に関する方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院生による授業評価システムの構築・活用を図る。</li> <li>・各種検定試験・資格試験の結果から、教育の成果・効果を明らかにする。</li> <li>・修了生や就職先からの意見や評価を教育の改善に活用するシステムを平成23年度から実施する。</li> </ul> | <p>◇教育成果を上げるための方策</p> <p>これまで実施した前期課程・後期課程の教育体制を充実させる取組みを継続する。</p> | <p>社会人大学院生のニーズに対応した就業しながらでも学修できる教育環境を整え、提供した。</p>                                      | A        | <p>◆社会人大学院生ニーズに対応した教育環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠隔授業</li> <li>・夜間、土・日開講</li> <li>・サテライト教室の設置(アウガ6F「まちなかうほ」)</li> <li>・長期履修制度</li> </ul> |
|   | <p>◇社会人のリカレント教育に対する支援を充実させる取組みを継続する。</p>                           | <p>地域研究センターにおける取組みとして、大学院公開セミナーを継続して実施した。</p>  | B        | <p>◆地域研究センターでの大学院公開セミナーの実施(5回)</p> <p>※H23開催実績:6回</p>   |
|   | <p>◇教育の成果・効果の検証に関する方策</p> <p>大学院生による授業評価システムの構築を図る。</p>            | <p>授業評価について、授業科目毎の履修者数が少ないため、学部と同様なアンケート方式になじまないことから、大学院運営委員会において平成25年度も引き続き検討を行う。</p> | C        | <p>◆大学院運営会議全12回開催(4/9, 5/17, 6/20, 7/12, 9/11, 10/16, 10/25, 12/4, 12/12, 1/16, 2/19, 3/11)</p>   |
|   | <p>◇収集した修了生や就職先からのデータを基に教育の改善に活用するシステムを立ち上げる。</p>                  | <p>当該システムの構築は大学院教育改革の実態にそぐわないものと判断し、計画を実行しないこととした。</p>                                 | A        | <p>①第14回戦略会議にて審議・承認(11/14)</p> <p>②第2回近況報告会で報告(11/20)</p> <p>◆地域研究センター調査(H23年度)</p> <p>「大学新卒者の採用および求める人材に関する調査」</p> <p>◆2012年度第1回大学院運営会議(4/9)</p>           |

平成24年度 業務実績報告書

II 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画

1 教育に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容  | 年度計画の内容   | 業務の実績(計画の進捗状況)  | 自己<br>評価 | 備考   |
|---|---|---|----------|--|
| <p>(2)教育内容等に関する目標を達成するための措置</p> <p>①教育プログラムの検証・再編</p> <p>【学士課程】</p> <p>◇教育理念等に応じた教育課程を編成するための方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学時における本学の教育の基本方針を徹底させる。</li> <li>・教育効果をより高めるよう平成23年度からの実施を目的に教育課程を再編成する。</li> <li>・大学での学修の進め方を学ぶ導入教育や基礎学力が不足している学生に対するリメディアル教育を充実させる。</li> </ul> <p>◇適切な成績評価等の実施に関する方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学科におけるディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与方針)を平成22年度内に定める。</li> <li>・GPA制度による成績評価を徹底し、退学勧告制度を改善する。</li> <li>・シラバス(講義計画・概要)における到達目標を明示し、それに基づく成績評価を行う。</li> <li>・成績優秀者を表彰するとともに、成績不良者に対する個別指導を充実させる。</li> <li>・資格試験の成績による単位認定制度を充実させる。</li> </ul> | <p>◇教育理念等に応じた教育課程を編成するための方策導入教育やリメディアル教育の取組みを継続する。</p>            | <p>入学時リメディアル教育を実施しているほか、キャリア意識を育むための授業を実施した。</p>  | B        | <p>◆リメディアル教育(英・数)2科目×12回</p> <p>◆キャリア教育科目「大学基礎演習」1単位(7回)</p> |
|   | <p>◇適切な成績評価等の実施に関する方策</p> <p>退学勧告制度の改善を図る取組みの検討を学務運営会議等で開始する。</p> | <p>退学勧告を受け自主退学した学生で、再入学を目的に科目等履修生となった者への個別指導及び面談の実施を学務運営会議等で検討した。また、平成25年度春学期より、再入学目的の科目等履修生について、教務担当特別補佐による個別面談を行うこととした。</p> | A        | <p>◆2012年度第6回学務運営会議(9/25)</p>                                |
|   | <p>◇シラバスにおける到達目標を明示し、それに基づく成績評価を行う取組みを継続する。</p>                   | <p>シラバスに科目の到達目標、評価基準を明示し、それに基づいて成績評価を行った。</p>   | B        |  |
|   | <p>◇成績不良者に対する個別指導を充実させる取組みの検討を学務運営会議等で開始する。</p>                   | <p>退学勧告を受け自主退学した学生で、再入学を目的に科目等履修生となった者への個別指導及び面談の実施を学務運営会議等で検討した。また、平成25年度春学期より、再入学目的の科目等履修生について、教務担当特別補佐による個別面談を行うこととした。</p> | A        | <p>◆2012年度第6回学務運営会議(9/25)</p>                                |
|   | <p>◇資格試験の成績による単位認定制度についての検討を学務運営会議で開始する。</p>                      | <p>資格試験の成績による単位認定の導入の可能性が、科目毎に異なることから、引き続き学務運営会議で検討することとした。</p>   | C        |  |

平成24年度 業務実績報告書

II 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画

1 教育に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容   | 年度計画の内容  | 業務の実績(計画の進捗状況)   | 自己<br>評価 | 備考   |
|--|--|--|----------|--|
| 【大学院課程】<br>・区分制博士課程変更後のカリキュラムの改善を図る。<br>・ディプロマ・ポリシー(修了認定・学位授与方針)を平成22年度内に明確化する。  | ◇明確化されたディプロマ・ポリシーによる教育内容の向上維持に努める。             | ディプロマポリシーに基づいた教育内容をシラバスに明記し、授業を実施した。また、博士論文の論文審査基準を成文化することにより、より一層明確化するとともに、周知することとした。                   | A        |  |
| ②教育方法の改善<br>【学士課程】<br>・高大連携のため、入学前並びに入学直後の指導を適切に行う。<br>・FD(教員の教育・研究の質の維持・向上を図るための取組み)を通じて、教育方法や実施体制の改善を行う。<br>・フィールドワーク等による実社会を教育現場とする体験的学習を拡充する。<br>・ICT(情報通信技術)を積極的に活用した学習指導方法を導入する。 | ◇フィールドワーク等による実社会を教育現場とする体験的学習を拡充するための取組みを継続する。 | 地域みらい学科および経済学科において企業訪問等、学外での授業・ゼミ活動を継続して実施した。  | B        |  |
|  | ◇FD活動を2回実施する。                                  | 学内での自己評価に関する情報共有を活性化させるために、教員と職員との合同のFD・SD研修会を初めて実施した。   | B        | ①青森公立大学FD・SD研修「自己表現・評価トレーニング」(5/30)<br>②第2回FD研修会(3/11)<br>「1部:学部、2部:大学院」 |
|  | ◇ICT(情報通信技術)を積極的に活用した学習指導方法の導入について学務運営会議で検討する。 | 新情報システムの構築に併せて活用検討をすることとした。  | A        | ◆導入の可能性<br>・新たな情報システムに、ICTを利用した機能の付加                                     |
| 【大学院課程】<br>・「大学院教育改革支援プログラム」による教育方法の効果を検証し、改善を図る。<br>・履修指導の改善を図る。  | ◇履修指導の改善を図る取組みを継続する。                           | 平成22年度研究科教授会にて承認された「博士後期課程研究報告会」を実施するとともに、博士前期課程の修了判定においては、「博士前期課程における修士論文と研究調査の性格と審査基準(申合せ)」に基づき審査を行った。 | B        | 博士後期課程研究報告会(2/1)   |
|  | ◇学則における大学院の目的を明確化する。                           | 大学院の教育・研究・地域貢献に係る目的を明確化し、また法人の定款との整合性を図るため、大学院学則第1条の改正を行った。  | B        | ◆青森公立大学大学院学則 第1条(目的)   |

平成24年度 業務実績報告書

II 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画

1 教育に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容   | 年度計画の内容   | 業務の実績(計画の進捗状況)  | 自己<br>評価  | 備考   |
|--|---|---|---|--|
| <p>(3)教育の実施体制に関する目標を達成するための措置</p> <p>①教員の教育指導能力の向上</p> <p>【学士課程】【大学院課程】</p> <p>・FD活動の体制を構築し、教育指導能力の向上を図る。<br/>・授業評価の方法やフィードバックシステムを整備する。</p>   | <p>◇授業評価アンケートによる改善点を次年度のシラバスに反映させるという現行のシステムを活用しつつ、FD研修を通じて教員の意識改革や授業改善の一層の推進に取り組む。</p>             | <p>授業改善について、教員と職員が協働し、取り組んでいこう、合同のFD・SD研修を実施し、教職員の意識啓発に努めた。</p>                   | B   | <p>①青森公立大学FD・SD研修「自己表現・評価トレーニング」(5/30)</p> <p>②第2回FD研修会(3/11)<br/>「1部:学部、2部:大学院」</p> |
|  | <p>◇国際芸術センター青森の運営の新たな組織体制を確立するため、「国際芸術センター青森運営会議」を設置するとともに、国際芸術センター青森の利活用拡大策を検討し、可能なものから順次実施する。</p> | <p>国際芸術センター青森運営会議を設置し、国際芸術センター青森の利活用拡大策として、ラウンジカフェを設置することとした。</p>                 | <p>【第1回会議】H24.6.28<br/>【第2回会議】H24.9.7<br/>【第3回会議】H24.10.30<br/>【第4回会議】H25.2.4<br/>【第5回会議】H25.3.11<br/>※ラウンジ・カフェ・オープン(H25.4.7)</p> | A  |
| <p>②教育環境の整備</p> <p>【学士課程】</p> <p>・学内会議を通じて教職員の連携を強化し、互いの専門性を高める。<br/>・教室の不足等による受講定員のある講義科目の改善を図る。<br/>・教室内の設備を充実させる。<br/>・教育課程における国際芸術センター(ACAC)の利活用拡大策を平成22年度内に策定する。<br/>・国際交流ハウスの整備・活用を図る。<br/>・学内のネットワーク及び情報教室、CALL等、情報システムを更新・整備する。<br/>・教員の教育支援体制としてのTA(学生による授業補助者)制度を活用する。<br/>・地域における教育現場を確保するとともに、留学先の拡充を図る。</p> | <p>◇国際交流ハウスの利活用拡大策の検討に着手する。</p>   | <p>ホームページにて国際交流ハウスも含めた交流施設の貸出についての情報提供を推進するほか、貸出向けのリーフレットを新規に作成し、PR強化に努めた。</p>    | A   |  |
|  | <p>◇学内の情報システムの更新・整備に向けた取組みを継続する。</p>  | <p>新情報システムを導入するために、システム関係資料の収集・整理を行い、導入方針の検討を行った。</p>                             | B   |  |
|  | <p>◇教員の教育支援体制としてのTA(学生による授業補助者)制度の活用についての改善方法を学務運営会議で検討する。</p>                                      | <p>学務運営会議において、TA制度を効果的に活用するため、予算策定時の各教員の要望調査及び利用申請時の内容についての審議を行うこととした。</p>        | B   | ◆2012年度第7回学務運営会議(10/9)   |
|  | <p>◇アジア地域の留学先についての検討を継続する。</p>  | <p>留学先についてはアジア地域に限らず、国際情勢を見据えながら、グローバルな視点で再検討をした。</p>                             | A   | ◆青森公立大学国際交流事業学長構想  |
|  | <p>◇本学と協定を結ぶ自治体を教育現場として活用するための取組みを継続する。</p>   | <p>連携協定を締結している町村(七戸町、佐井村)を、引き続き教育現場として活用するとともに、平成24年度は、新たに西目屋村、青森市と連携協定を締結した。</p> | A   | ◆H24年度に協定締結した自治体<br>①西目屋村(10/3)<br>②青森市(中心市街地活性化に関する連携協定)(2/15)                      |

平成24年度 業務実績報告書

Ⅱ 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画

1 教育に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容   | 年度計画の内容   | 業務の実績(計画の進捗状況)   | 自己<br>評価 | 備考   |
|--|---|--|----------|--|
| 【大学院課程】<br>・サテライトの有効活用を図るとともに、遠隔授業支援の方法を確立する。  | ◇サテライトの有効活用を維持し充実させるための取組みを継続する。                | 社会人大学院生ニーズに対応し、サテライトでの夜間、土曜日の授業開講を継続実施した。                  | B        | サテライト:<br>◆青森公立大学 地域研究センター「まちなかラボ」(青森駅前再開発ビル「アウガ」6階)<br>大学院授業実績(H24):<br>◆ゼミ:(春学期)9科目/133コマ、(秋学期)8科目/101コマ |
| ③学習環境の整備<br>【学士課程】<br>・レファレンス・サービスなど図書館機能を充実させる。<br>・情報教育のための設備環境を整備する。<br>・情報の収集及び情報発信の充実を図る。<br>・外国語学習支援システムを改善する。 | ◇学内の情報システムの更新・整備に向けた取組みを継続する。                   | 新情報システムを導入するために、システム関係資料の収集・整理を行い、導入方針の検討を行った。             | B        |  |
|  | ◇LRR(語学学習支援室)の基本的なあり方についての検討を開始し、可能なものから順次改善する。 | LRR(語学学習支援室)の存在意義が開学当初に比べ変化しており、語学学習システムの更新に合わせて廃止することとした。 | A        | ①第14回戦略会議にて審議・承認(11/14)<br>②第2回近況報告会で報告(11/20)   |
| 【大学院課程】<br>・大学院生の研究成果の発表機会を拡充する。<br>・大学院生へPCの貸与を行う。<br>・大学院生研究室の利便性を改善する。  | ◇大学院生の研究成果の発表機会を拡充する取組みを継続する。                   | 「博士後期課程研究報告会」(学内)や「地域文化教育学会」など、継続して大学院生の研究発表の場の確保に努めた。     | B        | ①博士後期課程研究報告会(2/1)<br>②地域文化教育学会第2回全国大会(10/20)   |
|  | ◇大学院生研究室の利便性を改善する取組みを継続する。                      | 大学院学友会へ、研究室等に関する要望の取りまとめを依頼した結果、平成24年度においては要望は無かった。        | B        | ◆要望の取りまとめ期限:<br>12月末締切   |

平成24年度 業務実績報告書

II 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画

1 教育に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容  | 年度計画の内容  | 業務の実績(計画の進捗状況)  | 自己<br>評価 | 備考   |
|---|--|---|----------|--|
| <p>(4)学生の受入に関する目標を達成するための措置</p> <p>【学士課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)を平成22年度内に明示し、それに対応した入試制度の多様化を推進する。</li> <li>・青森県内からの入学者の増加を図る。</li> <li>・大学間競争の激化に対応した入試期日、試験会場などの見直しを継続する。</li> <li>・AO入試や推薦入試での合格者に対する入学前指導を充実させる。</li> <li>・県外へも高校訪問(わらじ作戦・20校程度)を拡充し、入学希望者の増加を図る。</li> <li>・出前講義、学校見学を充実させる。</li> <li>・入試に関わる広報を充実させる。</li> <li>・高大連携を活用し、特別講座を開催する。</li> <li>・入試からキャリア支援までを一貫して指導する体制(キャリア・アド・オフィス)を早急に構築する。</li> </ul> | ◇明示したアドミッション・ポリシーを達成する取組を行う。                     | ホームページや各種進学説明会、入学者選抜要項での周知はもちろん、当該ポリシーに沿って、厳格に入学者選抜を行った。                                    | B        | 【周知方法】<br>ホームページ、大学パンフレット、入学者選抜要項、学生便覧、各種進学説明会                             |
|   | ◇青森県内からの入学者の増加を図るための検討を開始し、可能なものから順次実施する。        | 鉄道機関での入学者募集ポスターの掲示を実施した。  | B        | 【掲載期間】<br>平成24年7月12日～平成25年2月6日   |
|   | ◇入試制度(入試期日・試験会場など)を随時見直す。                        | 2013年度入試より一般選抜(前期日程)の試験会場を1会場新設(盛岡市:アイーナ)し、合計3会場とした。  | B        | 【一般選抜(前期日程)試験会場】<br>①青森市:青森公立大学<br>②盛岡市(新設):アイーナ<br>③東京都:日本大学              |
|   | ◇AO入試や推薦入試での合格者に対する入学前指導を充実させる。                  | 11月22日の推薦入試合格発表後、12月上旬に、AO入試及び推薦入試入学者へ課題を送付し、入学前指導を実施した。                                    | B        |  |
|   | ◇県外の高校訪問を拡充し、入学希望者の増加を図る。                        | 5～7月にかけて県外12校、10月においては、県外5校の合計17校の訪問を実施した。  | B        |  |
|   | ◇入試に関わる広報を充実させる。                                 | デジタルオープンキャンパス動画の新規掲載や、大学見学の実施状況を写真を取り入れ掲載する他、盛岡駅構内での電飾看板の掲示や青森県内主要駅でのポスターの掲出をする等、広報の充実に努めた。 | B        | 【掲出期間】<br>・盛岡駅電飾看板:平成24年6月11日～平成25年3月31日<br>・青森県内ポスター:平成24年7月12日～平成25年2月6日 |
|   | ◇キャリア・アド・オフィスに代わり入試委員会・就職指導委員会として発足させた指導体制を継続する。 | 委員会の事務局として、別々であった入試チームと就職チームを統合し、「入試・就職チーム」とすることでし、入口と出口の情報共有ができ、指導体制の充実に繋がった。              | B        |  |

平成24年度 業務実績報告書

II 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画

1 教育に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容  | 年度計画の内容   | 業務の実績(計画の進捗状況)   | 自己<br>評価 | 備考   |
|---|---|--|----------|--|
| 【大学院課程】<br>・アドミッション・ポリシーを平成22年度内に明示する。<br>・学部教育との連携の円滑化を図る。   | ◇明確化したアドミッション・ポリシーを達成する取組みを継続する。                    | ホームページや各種進学説明会、入学者選抜要項での周知はもちろん、当該ポリシーに沿って、厳格に入学者選抜を行った。                               | B        | 【周知方法】<br>ホームページ、大学パンフレット、入学者選抜要項、学生便覧、各種進学説明会                       |
|   | ◇学部教育との連携の円滑化を図る取組みを継続する。                           | 学部生の大学院授業履修を可能とする取組みを継続して実施し、また今年度より、大学院への学部から直接進学する学生に対しての特待奨学生制度を設置した。               | A        | ◆大学院科目を履修した学部生<br>・春:2科目、4人<br>・秋:1科目、1人<br>◆学内進学特待奨学生<br>・0人        |
| (5) 学生への支援に関する目標を達成するための措置  | ◇東日本大震災による被災在学生への修学支援として授業料の減免を継続して行う。              | 被災者への授業料の減免を実施した。  | B        | ◆東日本大震災に係る理由により減免を許可された者<br>・春学期:9名<br>・秋学期:10名                      |
| ① 学生生活支援  | ◇各種奨学金制度について情報提供を充実させる取組みを行う。                       | 学内掲示等により各種奨学金の募集案内を学生へ情報提供した。  | B        | ・学生掲示板<br>・学生便覧<br>・NebutaNet  |
| 【学士課程】<br>・授業料の減免を行うとともに、各種奨学金制度について情報提供し、制度の活用を支援する。<br>・課外活動の活性化を支援するための施設・設備を充実させる。<br>・後援会及び同窓会の基盤強化を図る。<br>・社会活動における学生と地域との交流を支援する。<br>・学修アドバイザー制度による学生生活全般の支援を充実させる。<br>・食堂・売店などの福利厚生施設を充実させる。<br>・学生の心身の健康増進のためにカウンセラーを活用する。<br>・ハラスメントを防止するための委員会の改善を図る。<br>・留学生に対する生活環境の向上のためチューター制度(学生による学修及び生活支援)など、物心両面での支援を図る。 | ◇後援会及び同窓会の基盤強化を図るための取組みを継続する。                       | 同窓会については、これまで大学祭に合わせて付随的に行われてきたが、参加者の拡大を図るべく別途独立開催することとした。後援会については、学生支援事業を強化拡大することとした。 | B        | ①同窓会:総会(H25年9月開催に変更)<br>②後援会:総会(4月開催)、学生支援事業(課外活動支援の充実)              |
|   | ◇改善した学修アドバイザー制度を継続する。                               | 平成23年度のカリキュラム改正に伴い、「大学基礎演習」において、担当教員が学修アドバイザーとなり学生の指導を実施した。                            | B        |  |
|   | ◇食堂・売店などの福利厚生施設を充実させるため、モニタリングを実施し、改善すべき点について指導を行う。 | 食堂及び売店を請負う業者に対して、モニタリングを実施し、基準を満たさない項目については、改善策を要請し、次年度に反映させることとした。                    | B        | 実施期間:1/15~1/25<br>審査員:11名  |
|   | ◇学生の心身の健康増進のためにメンタルヘルス相談員、嘱託医の活用を促進する取組みを行う。        | メンタルヘルス相談室の利用促進を図るための「メンタル相談室紹介カード」の作成及び掲示板の設置、各教員への配布を継続し、教員とメンタルヘルス相談室の連携体制の維持に努めた。  | B        | ◆紹介カードの配置<br>・学内掲示板<br>・NebutaNetへの掲載<br>・教員への配布                     |
|   | ◇大学院生特待奨学生制度を創設する。                                  | 社会人学生及び学内進学学生が学修しやすい環境を整えるため、平成24年度から「大学院特待奨学生制度」を創設し、授業料免除を行った。                       | B        | ◆H24年度生の認定<br>・社会人特待奨学生3名<br>※H25年度も継続認定<br>◆H25年度生の認定<br>・社会特待奨学生1名 |

平成24年度 業務実績報告書

II 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画

1 教育に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容  | 年度計画の内容                                | 業務の実績(計画の進捗状況)  | 自己<br>評価 | 備考  |
|---|--|---|----------|---|
| <b>②キャリア支援</b><br><b>【学士課程】</b><br>・就職及び進学支援に関するキャリア戦略を構築する。<br>・就職専門員などによる既卒者も含めた就職先の新規開拓を進める。<br>・行政、地元の企業や関係機関、団体と連携した就職支援体制を充実させる。<br>・インターンシップによる就業体験、起業(アントレプレナーシップ)に対応した教育を充実させる。<br>・同窓会組織の充実を図り、卒業生との連携を強化し、就職支援ネットワークを構築する。 | ◇就職専門員などによる既卒者も含めた就職先の新規開拓を進める。        | 県内企業をはじめ、本学生の出身県で上位を占める秋田県や岩手県のほか、企業数の多い首都圏を中心に新規開拓を行った。  | B        | 県内94企業、岩手・秋田30企業、その他21企業 計145企業   |
|   | ◇国の新たな就業力育成支援制度の採択に向けた就職支援事業の構築を図る。    | 文部科学省より新たな就業力育成支援事業として「産業界にニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に採択され、産学連携協議会や企業訪問を通して、産業界が希望する人材育成や教育について情報交換を行い、就職支援事業の構築を図った。 | B        |   |
|   | ◇資格試験の支援対策として簿記会計のエクステンション教育の充実・強化を図る。 | 教員による簿記試験講座を実施した。   | B        | ◆春学期:<br>5/21～6/9(全20回)<br>◆秋学期:<br>2級 10/29～11/17(全20回)<br>3級 10/29～11/18(全21回)<br>※H23の総開催数:54回 |
|   | ◇公務員試験予備校との連携による公務員試験対策講座を開催する。        | 平成24年4月より公務員試験対策に実績のある東京アカデミー青森校と連携し、青森県内だけでなく、国家公務員や地方自治体の試験情報の提供や面接や論文試験までサポートを行った。                             | B        | 受講生:178名  |
|   | ◇同窓会組織と連携した就職支援ネットワーク構築に向けた検討を開始する。    | 同窓会データベースの充実を図るべく、同窓会において同窓会支援システムの導入を検討しており、平成25年度9月開催予定の総会において、運用を開始する予定である。                                    | B        | ◆同窓会事業検討委員会<br>①2013年1月27日<br>②2013年3月23日   |
| <b>【大学院課程】</b><br>・大学院生へのキャリア支援を充実させる。  | ◇大学院生へのキャリア支援を充実させる取組みを継続する。           | 企業訪問を通して採用に関する情報収集を行い、模擬面接や履歴書の添削等で、個別に情報提供を行うことで、キャリア支援を行った。   | B        |   |

平成24年度 業務実績報告書

Ⅱ 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画

1 教育に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容       | 年度計画の内容 | 業務の実績(計画の進捗状況)     | 自己<br>評価 | 備考  |
|------------------------|---------|--------------------|----------|-----|
| Ⅱ-1 教育に関する目標を達成するための計画 |         |                    |          |     |
|                        |         | A:年度計画を上回って実施している  | 14       | 95% |
|                        |         | B:年度計画を十分に実施している   | 41       |     |
|                        |         | C:年度計画を十分には実施していない | 3        |     |
|                        |         | D:年度計画を実施していない     |          |     |

| 特記事項   | 備考                              |
|--|---------------------------------|
| 以下の項目については、検討又は実施しないこととした。<br>①「各種検定試験・資格試験の結果から、教育の成果・効果を明らかにするシステム作りの検討に着手する」、②「集収した修了生や就職先からのデータを基に教育の改善に活用するシステムを立ち上げる」、③「LRR(語学学習支援室)の基本的なあり方についての検討を開始し、可能なものから順次改善する」 | これらの項目は検討又は実施しないと判断したため評価はAとした。 |

| 大項目評価(大項目の進捗状況)  | 備考 |
|--|----|
| 退学勧告制度の改善や成績不振者に対する取り組みを強化するとともに、学部から大学院へ直接進学する学生に対する奨学生制度の創設を行った。また、大学院特待奨学生制度の運用を開始した。 |    |

平成24年度 業務実績報告書

Ⅱ 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画

2 研究に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容   | 年度計画の内容   | 業務の実績(計画の進捗状況)  | 自己<br>評価   | 備考   |
|--|---|---|--|--|
| (1) 研究内容に関する目標を達成するための措置<br><br>【研究の方向】<br><br>・基礎的及び応用的研究を推進する。<br>・地域課題、国際的課題の研究を推進する。<br>・授業内容を充実させる研究を推進する。<br>・教育方法等改善の研究を推進する。 | 【研究の方向】<br>◇基礎的及び応用的研究を推進する取組みの検討を継続し、体制を整備する。                  | 研究費の配分方法の変更を検討し、次年度より実施に向けて体制を整備することとした。                            | A  | 戦略的研究助成事業(H25年度より実施)   |
|  | ◇地域課題、国際的課題の研究を推進する。  | 地域研究センターでのプロジェクト事業の他、大学GOC(地域再生の核となる大学づくり)に関する取組みなど地域課題に対する研究を推進した。 | A  | ①H24地研プロジェクト事業(全9件)<br>②西目屋村との連携協定締結(10/3)<br>③青森市との中心市街地活性化に関する連携協定締結(2/15) |
|  | ◇授業内容を充実させる研究を推進できるよう体制を整備する。                                   | 次年度より戦略的研究助成事業を新設し、授業内容を充実させる研究推進体制にも対応することとした。                     | A  | 戦略的研究助成事業(H25年度より実施)   |
|  | ◇教育方法等改善の研究を推進できるよう体制を整備する。                                     | 次年度より戦略的研究助成事業を新設し、教育方法等改善の研究を充実させることが可能な体制を整備することとした。              | A  | 戦略的研究助成事業(H25年度より実施)   |
| (2) 研究水準及び研究成果に関する目標を達成するための措置<br><br>【評価システム】<br><br>・研究活動と研究成果の透明で公正な評価システムを構築する。<br>・高い研究成果を顕彰する。                                 | 【評価システム】<br>◇研究活動と研究成果の透明で公正な評価システムを構築する取組みを継続する。               | 次年度より戦略的研究助成事業を新設し、申請による研究費の配分を行うことで、公正な評価システムを構築することとした。           | A  | 戦略的研究助成事業(H25年度より実施)   |
|  | ◇高い研究成果を顕彰する取組みを継続する。   | 次年度より戦略的研究助成事業を新設し、高い研究成果を上げるための支援を図ることとした。                         | A  | 戦略的研究助成事業(H25年度より実施)   |
|  | 【研究情報の公開】<br>◇教員の研究成果をホームページ等により学内外へ公開する取組みを継続する。               | 教員データベースを作成し、研究成果の最新情報を学外へ公開した。                                     | B  | 教員データベース公開:<br>H24.8月  |
|  | ・教員の研究成果をホームページ等により学内外へ公開する。<br>・毎年2回程度公開講座を開催するなど、研究成果を社会還元する。 | ◇2回程度公開講座を開催するなど、研究成果を社会還元する。                                       | 公開講座を6シリーズ・延べ31回実施し、延べ786名の参加があり、研究成果等の地域還元に努めた。 | A  |

平成24年度 業務実績報告書

Ⅱ 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画

2 研究に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容  | 年度計画の内容  | 業務の実績(計画の進捗状況)  | 自己<br>評価 | 備考  |
|---|--|---|----------|---|
| (3) 研究実施体制等の整備に関する目標を達成するための措置<br><br>【研究環境】<br><br>・外部資金情報の提供及び手続支援システムを整備する。<br>・教員の大学管理運営業務関与の簡素化と担当授業時間の適切な管理を図る。<br>・学生の研究活動参加体制を改善する。<br>・地域研究センターの研究機能の充実及び共同研究並びに産学官金連携を推進する。<br>・連携研究等にかかわるポリシーを整備する。<br>・研究倫理、研究費使用等にかかわる基準を整備する。 | 【研究環境】<br>◇外部資金情報の提供及び手続支援システムを整備する取組みを継続する。   | 外部資金に関する情報提供については、事務局からの通知の周知徹底を図り、申請率の向上に努めた。  | B        | 科研費:<br>・H24: 申請11件に対し採択4件<br>・H23: 申請9件に対し採択1件     |
|   | ◇学生の研究活動参加体制を改善する取組みを継続する。                     | 次年度より新設の戦略的研究助成事業において、学生の研究活動に対する取組みにも対応できることとした。                                       | A        | 戦略的研究助成事業(H25年度より実施)                                |
|   | ◇地域研究センターの研究機能の充実及び共同研究並びに産学官金連携を推進する取組みを継続する。 | 既に連携協定を締結している町村(七戸町、佐井村)や企業との研究を継続すると同時に、西目屋村及び青森市と連携協定を締結するなど、地域研究センターにおける研究機能の充実を図った。 | A        | ①西目屋村との連携協定締結(10/3)<br>②青森市との中心市街地活性化に関する連携協定(2/15) |
|   | ◇連携研究等にかかわるポリシーを整備する取組みを継続する。                  | 地域連携センターにおいて、これまでの自治体等との地域連携活動や研究を踏まえた上で、地域連携に関するポリシーの整備を検討することとした。                     | B        |   |
| 【研修制度】<br><br>・教員サバティカル制度(長期研修制度)を改善する。<br><br>【研究費】<br><br>・基幹業務遂行の充実のため、基盤研究費制度を平成23年度実施を目途に導入する。<br>・実績主義とプロジェクト方式の研究費制度を平成23年度実施を目途に導入する。<br>・研究費を透明で公正な研究成果評価基準により配分する。  | 【研修制度】<br>◇教員サバティカル制度(長期研修制度)を改善する取組みを継続する。    | 戦略会議において、サバティカル制度(長期研修制度)の抜本的な見直しに向けた検討を進めることとした。                                       | B        |   |
|   | 【研究費】<br>◇基幹業務遂行の充実のため、基盤研究費制度を導入する取組みを継続する。   | 次年度より戦略的研究助成事業を新設し、研究費の配分方法の改善を進めることとした。  | A        | 戦略的研究助成事業(H25年度より実施)                                |
|   | ◇実績主義とプロジェクト方式による研究費制度を導入する取組みに関する検討を継続する。     | 次年度より戦略的研究助成事業を新設し、研究費の配分方法の改善を進めることとした。  | A        | 戦略的研究助成事業(H25年度より実施)                                |
| Ⅱ-2 研究に関する目標を達成するための計画  |  |   |          |   |
|   |  | A: 年度計画を上回って実施している  | 11       | 100%  |
|   |  | B: 年度計画を十分に実施している   | 4        |   |
|   |  | C: 年度計画を十分には実施していない   |          |   |
|   |  | D: 年度計画を実施していない   |          |   |

平成24年度 業務実績報告書

Ⅱ 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画

2 研究に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容  | 年度計画の内容 | 業務の実績(計画の進捗状況) | 自己<br>評価 | 備考 |
|---|---------|----------------|----------|----|
| 特記事項  |         |                |          | 備考 |
| これまでは研究全般については、研究推進会議において進めてきたが、会議のあり方を議論した結果、これを廃止し、代わって、戦略的研究助成事業を新設することとし、研究活動の透明性と公平性を一層図ることとした。            |         |                |          |    |
| 大項目評価(大項目の進捗状況)   |         |                |          | 備考 |
| 教員の研究成果に関するデータベースをホームページで公開した。また、公開講座の充実を図ることで参加者の増加に努めた。さらに、教員の研究費についてのあり方を再検討し、次年度より新たに「戦略的研究助成事業」を実施することとした。 |         |                |          |    |

平成24年度 業務実績報告書

II 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画

3 地域貢献に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容  | 年度計画の内容  | 業務の実績(計画の進捗状況)   | 自己<br>評価 | 備考  |
|---|--|--|----------|---|
| (1)地域連携の強化に関する目標を達成するための措置<br><br>①地域連携実施体制の整備<br>・地域貢献を重要な使命とする公立大学ならではの体制を構築するため、既設の地域研究センターを統括する地域連携センターを設置する。<br>・地域連携センターによる総合的な地域貢献体制を構築し、地域社会への教育機能の強化を図る。<br>・教職員が地域に貢献し易くするため、兼業・兼職制度を確立し、その適切な運用に努める。   | ◇地域連携センターによる総合的な地域貢献体制の確立を目指すとともに、大学の有する資源を地域社会へ還元できるよう積極的に取り組む。       | 地域貢献体制を確立し、COC(地域再生の核となる大学づくり)に関する取組を積極的に推進する目的から、青森市や西目屋村との連携協定を締結した。 | A        | ①西目屋村との連携協定締結(10/3)<br>②青森市との中心市街地活性化に関する連携協定(2/15)   |
|   | ◇教職員が地域に貢献し易くするため、兼業・兼職制度の運用を継続する。                                     | 教職員がより積極的に地域貢献活動に取り組めるよう兼業規程の見直しを図り、活動しやすくした。                          | A        | 公立大学法人青森公立大学職員兼業規程の改正(H25.4.1施行)  |
| ②研究成果の地域への還元<br>・研究成果を地域に還元するために、教員の研究に関する情報を集約し、利活用できる体制を構築する。<br>・公開講座、講演会、研究会をそれぞれ毎年2回程度実施する。<br>・地域における研究・調査に関わるニーズを把握し、学内の研究と結びつける仕組みを構築する。<br>・国際芸術センターの事業成果を地域に還元するため、芸術作品の展示(随時)、市民参加ワークショップ(年5回程度)、市民レクチュア(年5回程度)、児童・生徒の校外学習受入れ(年5回程度)などの教育プログラムを実施する。 | ◇公開講座、講演会、研究会を実施することにより、研究成果等を地域へ還元する機会の確保に努める。                        | 公開講座を6シリーズ・延べ31回実施し、延べ786名の参加があり、研究成果等の地域還元に努めた。                       | A        | ①経営学って何だろう?(全5回)<br>②青森の未来をデザインする(全6回)<br>③人間の探求Ⅱ(全4回)<br>④外国語会話講座(全7回・マ4回)<br>⑤大学院公開セミナー(全5回)<br>⑥新時代の企業力を養う(全7回)<br><br>※H23実績:3シリーズ、延べ17回実施、延べ530名参加 |
|   | ◇国際芸術センター青森の運営の新たな組織体制を確立するため、「国際芸術センター青森運営会議」を設置するとともに、より積極的な事業展開を図る。 | 国際芸術センター青森運営会議を設置するとともに、展覧会等各種事業を実施した。                                 | A        | ◆3月末現在の実施済事業<br>・展覧会 4回<br>・ワークショップ 16回<br>・レクチュア 8回<br>・校外学習受入 24回(小中学校等)  |
| ③教育面での貢献による地域連携の強化<br>・学部教育及び大学院教育と関連する各種資格・検定試験講座、語学教室等を一般向けにも開講し、地域住民の学習ニーズに応じていく教育貢献活動を毎年10回程度実施する。<br>・教職課程の設置により、教育界への人材供給を通じて地域への貢献を図る。   | ◇簿記会計教育、語学教育等のエクステンション教育を実施する体制を強化し、より一層の充実を図る。                        | 市民対象の講座を実施し、外国語会話講座で延べ198名、簿記講座で延べ390名が参加し、地域住民の学習参加の充実を図った。           | A        | ●外国語会話講座<br>①観光英語(初級・中級)<br>②ビジネス・イングリッシュ(初級)<br>③旅行中国語(初級)<br>●簿記講座<br>①6月検定コース<br>②11月検定コース<br>③2月検定コース<br><br>※H23実績:延べ166名(外国語会話講座)、延べ224名(簿記講座)    |

平成24年度 業務実績報告書

II 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画

3 地域貢献に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容  | 年度計画の内容   | 業務の実績(計画の進捗状況)   | 自己<br>評価 | 備考   |
|---|---|--|----------|--|
| ④地域の大学間連携<br>・大学間の単位互換、教員・大学施設の相互利用、共同講義、共同研究等について検討し、地域コンソーシアムの活用を図る。  | ◇青森県立保健大学、青森中央学院大学との単位互換協定を継続する。                                  | 青森県立保健大学及び青森中央学院大学との単位互換協定を継続して実施し、相互間での大学間連携が継続された。   | B        | ◆履修者<br>【春学期】<br>①本学から青森中央学院大学へ：1名、2科目<br>②青森保健大学大学院から本学大学院へ：1名、1科目<br>【秋学期】<br>①本学から青森中央学院大学へ：4名、9科目<br>②本学から青森県立保健大学へ：2名、1科目 |
|   | ◇青森地域大学間連携協定に基づき、各種連携事業の実施にあたっては、参画するよう努める。                       | 青森地域大学間連携協議会に参画し、大学間連携事業の検討を行った。   | B        | ◆2012年度青森地域大学間連携協議会(9/12) H24:幹事校：青森明の星短期大学  |
| ⑤地域の高等学校との連携<br>・高校関係者との協議会等を設置し、高大連携の推進に関する情報交換を行う。<br>・高校訪問により、本学の入学者選抜に関する情報提供を行うとともに、本学に対する要望、ニーズに関する聞き取りを行う。<br>・各高校において進路指導に活用できるよう、学生の出身高校に対して、入学後の情報を提供する。<br>・地域の高校からの推薦入試制度を維持する。<br>・高校生を対象とした公開講座や本学授業への参加、本学教員による出前講義等をそれぞれ毎年3回程度開催し、高大連携の推進を図る。<br>・オープンキャンパスでの高校生及び高校への情報提供を充実させる。 | ◇高校訪問を実施し、入学者選抜に関する情報提供等を行うとともに、その地域を拡大させる。                       | 5～7月にかけて県内22校、県外12校の計34校の訪問を実施し、10月においても県内17校、県外5校の合計22校の訪問を実施した。  | B        |  |
|   | ◇高大連携特別講座を実施する。   | 高大連携特別講座を3回実施した。   | B        | ①7/4(水):131名<br>②10/17(水):131名<br>③12/12(水):75名  |
|   | ◇高校生を対象とした本学教員による出前講義を実施する。                                       | 出前講義を10回実施した。  | A        | 【実施校】<br>弘前南高校、青森東高校、岩手県立金ヶ崎高校、盛岡市立高校、弘前中央高校、青森明の星高校、秋田県立角館高校、青森西高校、青森中央高校、大館鳳鳴高校<br>※H23実績:8回                                 |
|   | ◇オープンキャンパスを実施し、高校生及び高校への情報提供を図る。さらに、大学ホームページの充実による、情報公開の取組みを継続する。 | オープンキャンパス開催の案内告知は、ホームページにて公開した他、国際芸術センター青森(ACAC)の展覧会とタイアップしたオープンキャンパス開催のTVスポットCM放映、県内鉄道機関でのポスター掲示、教育機関等へのポスター、リーフレットの送付を行った。また、HPの充実として、デジタルオープンキャンパス動画の新規掲載や、大学見学の実施状況を写真を取り入れ掲載する等、情報公開に努めた。 | A        | ①1回目(7/28):参加者540名<br>②2回目(10/6):参加者69名<br>※H23実績:<br>①1回目(7/30)参加者:406名<br>②2回目(10/8)参加者:38名                                  |

平成24年度 業務実績報告書

II 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画

3 地域貢献に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容   | 年度計画の内容  | 業務の実績(計画の進捗状況)   | 自己<br>評価 | 備考  |
|--|--|--|----------|---|
| ⑥地域の企業、NPO等との連携<br>・地域の企業、NPO等との連携を推進し、地域活性化に関する活動を支援する。   | ◇地域の企業との共同研究、NPOとの連携した活動など、地域活性化活動への取組みを継続する。          | 地域文化教育学会の活動等、地域の企業との共同研究や地域活性化活動への取組みを行った。                                   | B        | 本学において、「地域文化教育学会 第2回全国大会」を開催(10/20)   |
| ⑦青森市との連携<br>・青森市が設立する公立大学法人であることから、青森市の行政施策との緊密な連携により、行政課題の解決に積極的に取り組み、地域貢献を実現する。  | ◇青森市の各種委員会、審議会等への参加も含め、大学として青森市の行政施策に取組む機会を充実させる。      | 教員が積極的に青森市の各種委員会、審議会等の委員を務め、自治体行政に貢献した。                                      | A        | ・教員の青森市の各種委員会等への参加:<br>H24: 29件<br>H23: 14件   |
| ⑧県内の市町村との連携<br>・連携テーマを明確にした上で、県内の市町村と連携協定を結び、大学の人材及び研究成果を活用し地域に貢献する。また、研究テーマを地域から発掘し、大学の研究を活性化する。  | ◇七戸町及び佐井村等の自治体と締結している連携協定に基づき、各自治体の活性化のための協力を継続する。     | 連携協定に基づき、七戸町と佐井村との事業を実施しているほか、西目屋村と青森市とも新たに連携協定を締結した。                        | A        | ①七戸町:「七戸そば博覧会」(10/27, 28)への協力、「青森公立大学生まちづくり発表会」(3/6)、②佐井村:「サイボート」利用状況調査(10/17)、③西目屋村:村内の地域資源や観光資源の調査活動(11/23, 24)、④青森市:中心市街地活性化に関する連携協定締結(H25.2.15) |
| ⑨青森県との連携<br>・東北新幹線の新青森延伸に際しての観光分野での連携、地域情報発信分野での連携等を進める。   | ◇連携協定に基づき、人材育成事業を継続するなど、大学として青森県の施策と連携を図る機会を充実させる。     | 人材育成事業「あおり立志挑戦塾」を国際交流ハウスにて年6回開催した。また、教員が青森県の各種委員会、審議会等の委員を務め、青森県との連携協力が図られた。 | B        | ◆【挑戦塾実施日】<br>①5/26・27、②6/23・24、③7/28・29、④9/1・2、<br>⑤10/6・7、⑥11/3・4<br>◆県の委員等への実績<br>H24:50件、H23:53件   |
| ⑩施設の開放<br>・地域住民への大学施設の開放を推進する。   | ◇地域住民への施設の開放を行う。                                       | 地域の事業・イベントに教室や施設の一部を貸出した。  | B        | ・県町村会主催の町村職員採用試験(7/22, 9/16)<br>・青森市職員採用試験(10/21)   |
| (2)情報提供に関する目標を達成するための措置<br>・ホームページ、広報誌等を通じた大学情報の発信を推進する。<br>・まちなカラボを活用し、広く市民に情報を発信する。<br>・教員の研究に関する情報を集約し、利活用できる体制を構築する。<br>・地域連携センターにおいて、情報発信の浸透状況の調査を行い、改善を図る。<br>・教育、研究、地域連携・貢献に資するよう、ICTインフラの整備に努める。 | ◇ホームページ、広報誌、紀要・叢書などにより、大学情報を積極的に発信し、大学の「見える化」の推進を継続する。 | 季刊誌を年4回発行したほか、イベント情報等、ホームページの内容の充実化を図り、大学の情報発信「見える化」に努めた。                    | A        | 「青森公立大学季刊誌」平成24年度 全4回発行<br>・第5号(5/15)<br>・第6号(8/15)<br>・第7号(11/15)<br>・第8号(2/15)<br><br>ホームページの内容の充実化:<br>ピック、イベント情報、メディア掲載履歴の情報更新及び退学者数の公表など       |

平成24年度 業務実績報告書

II 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画

3 地域貢献に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容  | 年度計画の内容                              | 業務の実績(計画の進捗状況)   | 自己<br>評価 | 備考   |
|---|--------------------------------------|--|----------|--|
| <p>(3)国際交流に関する目標を達成するための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学術交流や教員・学生交流、海外実習等のあり方を見直し、個々の学生のニーズや学部専門教育の教育目標に則して、プログラムの内容や運営方法を改善する。</li> <li>・語学や専門領域に関する留学を求める学生のニーズに応えるため、交流範囲の拡大に努める。</li> <li>・教育及び研究上の必要に応じて、留学先及び研修先を拡充する。</li> <li>・留学生や外国人研究者の受入れのため、国際交流ハウスを活用し、支援体制を整備する。</li> <li>・教育及び研究上の交流にとどまらず、文化、歴史、生活等、地域に根ざした国際交流を推進する。</li> </ul> | <p>◇本学の国際交流のあり方についての基本的な検討を行う。</p>   | <p>本学の国際交流に関する学長構想を策定し、その構想に基づき、平成25年度より順次着手することとした。</p> | A        | <p>◆青森公立大学国際交流事業学長構想</p>   |
|   | <p>◇米国レギュラー留学、米国短期語学研修を継続して実施する。</p> | <p>米国レギュラー留学及び米国短期語学研修を継続して実施した。</p>                     | B        | <p>◆今年度派遣状況<br/>①短期語学研修<br/>9名(8/18～9/16)<br/>②レギュラー留学<br/>1名(9/16～12/16)</p>            |
| <p>(4)人材供給に関する目標を達成するための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元出身者のみならず、地元以外の出身者も地域に就職できるよう、地域企業等との連携を図る。</li> <li>・教職課程の設置により、教育界への人材供給を通じて地域への貢献を図る。</li> <li>・大学院においては、高度知識基盤社会に必要な地域の人材の育成を通じて地域への貢献を図る。</li> </ul>   | <p>◇地域企業との連携を強化する。</p>               | <p>産業界のニーズに対応した人材を育成する事業の一環として、産学連携協議会を開催し、意見交換を行った。</p> | B        | <p>◆文部科学省補助事業:<br/>「産業界ニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」<br/>◆取組期間:H24～26年度<br/>◆取組大学:本学を含む17大学</p> |
| II-3 地域貢献に関する目標を達成するための計画   |                                      |  |          |  |
|   |                                      | A:年度計画を上回って実施している  | 11       | 100%   |
|   |                                      | B:年度計画を十分に実施している   | 9        |  |
|   |                                      | C:年度計画を十分には実施していない                                       |          |  |
|   |                                      | D:年度計画を実施していない   |          |  |

平成24年度 業務実績報告書

II 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画

3 地域貢献に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容   | 年度計画の内容 | 業務の実績(計画の進捗状況) | 自己<br>評価 | 備考 |
|--|---------|----------------|----------|----|
| 特記事項   |         |                |          | 備考 |
| 新たに2つの自治体(青森市、西目屋村)との連携協定を締結し、地域貢献活動の一層強化することとした。また、国際芸術センター青森運営会議を運用し、積極的な事業展開を図った。     |         |                |          |    |
| 大項目評価(大項目の進捗状況)  |         |                |          | 備考 |
| 本学の地域貢献の基盤体制が強化され、企業や自治体、地域住民とのより活発な活動が期待される。また、本学の国際交流のあり方を抜本的な検討を開始し、次年度から順次実施することとした。 |         |                |          |    |

平成24年度 業務実績報告書

Ⅲ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容   | 年度計画の内容  | 業務の実績(計画の進捗状況)   | 自己<br>評価 | 備考   |
|--|--|--|----------|--|
| <p>1 運営体制の改善に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1) 全学的な組織体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略的かつ機動的な大学運営を可能とする組織体制を構築する。</li> <li>・各部局長の責任と権限を明確にするとともに、個別案件に関する主担者を定め、その目標と成果を明らかにする仕組みを構築する。</li> <li>・地域連携センターを設置し、地域貢献活動を統括する。</li> <li>・所要コストと所要時間を得られた成果との関係で、客観的に評価するシステムを構築する。</li> </ul> | <p>◇大学運営における戦略性と機動性を整理し、効率的な体制構築に向けた検討を継続する。</p> | <p>戦略会議において、法人運営に関する包括的な課題検討を実施した。</p>   | B        | <p>戦略会議<br/>・開催:毎月第2.4水曜日<br/>・参加:理事長及び部局長(学長、学部長、研究科長、図書館長、事務局長)<br/>・開催回数:22回(H24)</p> |
|  | <p>◇費用対効果のコスト評価に関するシステムの検討を継続する。</p>             | <p>大学教育において、成果主義の導入が適正なものかどうか議論が分かれるところであり、検討した結果、コスト評価に関するシステムは、大学運営においてなじまないものと判断し、検討を取りやめた。</p> | A        | <p>①第14回戦略会議にて審議・承認(11/14)<br/>②第2回近況報告会で報告(11/20)</p>                                   |
|  | <p>◇地域連携センターを核とし、地域貢献活動の強化を継続する。</p>             | <p>地域連携センターを中心として、新たに西目屋村と青森市など、自治体との連携による地域貢献活動の充実を図った。</p>                                       | A        | <p>①西目屋村との連携協定締結(10/3)<br/>②青森市との中心市街地活性化に関する連携協定(2/15)</p>                              |
| <p>(2) 学外の意見を反映させる仕組みの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学外からの専門的知見のヒアリングを実施し、その概要と大学運営への反映状況を公表する。</li> <li>・学外の関係者(卒業生、経済界、行政等)からの意見を聴取し、その概要と大学運営への反映状況を公表する。</li> </ul>  | <p>◇学外からの意見を聴取する機会を充実させ、大学運営への反映と結果公表を継続する。</p>  | <p>学外関係者(経営者、他大学教授等)の意見を聴取する機会(会議等)を継続して実施し、会議録はホームページにて公開している。</p>                                | B        | <p>理事会(学外関係者:5名)、経営審議会(学外関係者:5名)※H24の役員等</p>   |
|  | <p>◇理事会等の会議概要の公表を行う。</p>                         | <p>法人化後からの理事会、経営審議会、教育研究審議会の会議録を順次、ホームページにて公開している。</p>   | B        |  |
| <p>(3) 内部監査機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内部監査組織を設置し、法人の監事とともに、目標の達成状況を定期的に監査する。</li> </ul>   | <p>◇内部監査組織を設置するための検討作業を引き続き行う。</p>               | <p>法人の監事による財務・経営等の監査や監査法人を通して、内部監査組織のあり方について検討し、現存の組織において実施している現状から、新たな組織は設けない方向で検討することとした。</p>    | B        | <p>監査機能を有する現存の組織(財務委員会、人事委員会、経営審議会、教育研究審議会)</p>  |

平成24年度 業務実績報告書

Ⅲ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容  | 年度計画の内容   | 業務の実績(計画の進捗状況)   | 自己<br>評価 | 備考  |
|---|---|--|----------|---|
| <b>2 教育研究組織の見直しに関する目標を達成するための措置</b><br><br>・時代の変化と社会の要請に対応できるカリキュラムを編成し、評価・見直しを行う。<br>・これに応じた教育、研究、地域貢献及び大学運営ができる教員職員の配置を機動的に実施する。<br>・地域貢献を統括する地域連携センターを設置し、3年ごとにその実績を評価し見直しを行う。 | ◇大学院問題検討ワーキンググループで検討した項目について取組みを開始する。                 | 大学院問題ワーキンググループで出された項目について、順次、取組みに着手した。   | B        | 【実施済事項】<br>◆大学院の目的を学則に明記(H24改正)<br>◆大学院特待奨学生制度(H24設置)<br>◆大学院版わらじの実施(H24から実施) |
|   | ◇地域連携センターを核とし、地域貢献活動の強化を継続する。                         | 地域連携センターを中心として、新たに西目屋村と青森市など、自治体との連携による地域貢献活動の充実を図った。  | A        | ①西目屋村との連携協定締結(10/3)<br>②青森市との中心市街地活性化に関する連携協定(2/15)                           |
| <b>3 人事の適正化に関する目標を達成するための措置</b><br><br><b>(1) 多様で柔軟な人事制度の構築</b><br><br>・人事の公平性を担保するとともに、柔軟かつ迅速な人事を行うため、平成21年度内に理事会の下に人事委員会を設置する。<br>・雇用、人事、評価、継続・非継続等の人事ルールを平成22年度内に構築し、随時見直しを図る。 | ◇教員及び事務職員を対象とした雇用・人事・評価・継続・非継続等の人事ルールの具体的な方針の策定に着手する。 | 人事ルールの抜本的な見直しを図り、次のような改正を実施した。①非正規雇用(嘱託職員・臨時職員)は雇用期間を1年から3年とし、また、開学時から雇用している者については、常時雇用の道を開いた。②非常勤役員報酬を従前の30,000円/回から25,000円/回とした。③役員退職手当を従前の18/100から12.5/100とした。④常勤役員手当を従前の30,000円/月から25,000円/月とした。⑤ACAC運営委員報酬を従前の30,000円/回から7,400円/回とした。 | A        | 改正実施項目<br>①嘱託職員及び臨時職員の待遇、②非常勤役員報酬の削減、③役員退職手当の削減、④常勤役員手当の削減、⑤ACAC運営委員報酬の削減     |
|   | ◇教員の4年ごとの実績評価の審査を継続する。                                | 教員の実績評価は、対象となる教員ごとの業績評価委員会を設置し、委員会において4年ごとの審査を実施した。  | B        | H24:審査対象教員:2名   |
|   | ◇事務職員の人事評価を継続する。                                      | 事務職員の自己評価および上位職位の職員による人事評価制度を実施した。   | B        | 市の人事評価の手引きに準じた評価方法を実施(①プロパー職員、②派遣職員、③嘱託職員、④臨時職員)                              |
| <b>(2) 人事評価システムの整備</b><br><br>・公平な人事評価システムを平成22年度内に構築し、その概要を公表する。   | ◇公平な人事評価システムの構築及び実施に向けた具体的な作業に着手する。                   | 人事ルールの抜本的な見直しを図り、次のような改正を実施した。①非正規雇用(嘱託職員・臨時職員)は雇用期間を1年から3年とし、また、開学時から雇用している者については、常時雇用の道を開いた。②非常勤役員報酬を従前の30,000円/回から25,000円/回とした。③役員退職手当を従前の18/100から12.5/100とした。④常勤役員手当を従前の30,000円/月から25,000円/月とした。⑤ACAC運営委員報酬を従前の30,000円/回から7,400円/回とした。 | A        | 改正実施項目<br>①嘱託職員及び臨時職員の待遇、②非常勤役員報酬の削減、③役員退職手当の削減、④常勤役員手当の削減、⑤ACAC運営委員報酬の削減     |

平成24年度 業務実績報告書

Ⅲ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容  | 年度計画の内容                               | 業務の実績(計画の進捗状況)  | 自己<br>評価 | 備考   |
|---|---------------------------------------|---|----------|--|
| (3) 人的資源の定員管理<br><br>・定員管理計画を平成22年度内に策定し、教育研究内容の見直し等に応じて随時見直しを図る。<br>・市からの事務職員の派遣について市と協議の上、平成21年度内に減員計画を策定し、計画的に事務職員のプロパー化を進める。                                | ◇定員管理計画の作業を継続し、業務と人的資源の配分の十分な検証を行う。   | 事務職員については、計画的なプロパー採用を進めており、また、教員職員については、自己評価としての教員業績評価の方法について、教育研究審議会や戦略会議等で協議し、自己評価委員会で実施した。 | A        | ①第14回戦略会議にて審議・承認(11/14)<br>②自己評価委員会にて実施(2/19)<br>①事務職員:「事務職員のプロパー化計画」(H21-26)<br>②自己評価としての教員業績評価(H25から実施)                                      |
| 4 事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置<br><br>・事務内容の検証により、外部委託等の可能な事務のアウトソーシングを進める。<br>・内部事務の見直しを進め、事務の効率化を図り、事務配分の機動的な見直しを進める。<br>・予算管理の効率化・適正化を図るため、セグメント会計方式の導入を検討する。 | ◇アウトソーシングの実施計画を策定し、実現に向けた内部事務の見直しを図る。 | 事務局において、アウトソーシング可能な業務の抽出を行い、実現可能な業務については、今後、実現に向けた計画的な検討を進めることとした。                            | B        |  |
|   | ◇機動的な運用を図るため、業務配分の見直しを行う。             | より効率的な業務運用を図るため、事務局にてチームの再編を行い、業務配分の見直しを図った。  | A        | H24<br>・秘書・企画チームを廃止し、総務管理チームに統合<br>・学生支援業務強化のため、教務・学生チームを増員  |
| 5 広報活動の推進に関する目標を達成するための措置<br><br>・教育、研究、地域貢献に関する大学の現況について、インターネットやマスコミを活用してタイムリーな情報発信に努める。<br>・大学における人材情報、受入れ可能な受託研究、調査情報等をインターネットや大学案内資料を通じて情報発信する。            | ◇大学の「見える化」を継続して推進できるよう、積極的な広報活動を実施する。 | 季刊誌『クォーターリー』の発行(年4回)、議会への近況報告会の実施(年2回)、ホームページの内容の充実や透明性を図るなど、広報活動の強化に努めた。                     | A        | ・クォーターリー:年4回発行<br>①5/15、②8/15、<br>③11/15、④2/15)<br>・議会報告会:年2回開催<br>(①5/21、②11/20)<br><br>ホームページの内容の充実化:<br>トピックイベント情報、メディア掲載履歴の情報更新及び退学者数の公表など |
| Ⅲ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画  |                                       |   |          |  |
| A: 年度計画を上回って実施している  |                                       |   | 8        | 100%   |
| B: 年度計画を十分に実施している   |                                       |   | 8        |  |
| C: 年度計画を十分には実施していない   |                                       |   |          |  |
| D: 年度計画を実施していない   |                                       |   |          |  |

平成24年度 業務実績報告書

Ⅲ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容   | 年度計画の内容 | 業務の実績(計画の進捗状況) | 自己<br>評価 | 備考                            |
|--|---------|----------------|----------|-------------------------------|
| 特記事項   |         |                |          | 備考                            |
| 「費用対効果のコスト評価に関するシステム」の取り組みについては、大学運営において、なじまないものと判断し、検討を取りやめた。 |         |                |          | この項目は検討又は実施しないと判断したため評価はAとした。 |

| 大項目評価(大項目の進捗状況)   |  |  |  | 備考 |
|---|--|--|--|----|
| 人事ルールに関する抜本的な見直しを検討するとともに、体制を整備し順次運用を開始することとした。また、効率的な事務事業の運用を進めるために、事務局の組織体制を再編成した。さらに、大学の「見える化」である広報活動の一層の充実を図った。 |  |  |  |    |

平成24年度 業務実績報告書

IV 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容  | 年度計画の内容                                      | 業務の実績(計画の進捗状況)  | 自己<br>評価 | 備考  |
|---|--|---|----------|---|
| <p>1 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1)教育関連収入に関する目標を達成するための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受験生確保のための高校訪問、オープンキャンパス、各種情報発信等を積極的に行う。</li> <li>・学生納付金の収納方法の見直しや個別相談を行い、確実な収入確保に努める。</li> <li>・社会情勢を考慮し、おおむね3年ごとに料金設定の適正性を検証する。</li> </ul> | <p>◇受験生確保のための高校訪問を実施し、訪問先の検証を行っていく。</p>      | <p>5～7月にかけて県内22校、県外12校の計34校の訪問を実施し、10月においても県内17校、県外5校の合計22校の訪問を実施した。訪問後は、報告書を作成し、これを基に検証を行った。</p> | B        |   |
|   | <p>◇オープンキャンパスを実施し、受験生の確保に結び付ける。</p>          | <p>7月と10月に実施し、模擬講義を各学科2回ずつ実施し、各種相談コーナーを設置するなど、受験生の確保に努めた。</p>                                     | B        | <p>◆オープンキャンパス</p> <p>①7/28(土):540名</p> <p>②10/6(土):69名</p> <p>※H23実績</p> <p>①1回目(7/30)参加者:406名</p> <p>②2回目(10/8)参加者:38名</p> |
|   | <p>◇学納金の収納方法の拡大についての検討を行う。</p>               | <p>他大学の学納金の口座振替の状況調査により、口座振替の導入効果は薄いと判断し、これまでどおり授業料減免・分割納入、滞納者への催告により確実な収入確保に努めることとした。</p>        | B        | <p>◆他大学の口座振替実施状況</p> <p>①釧路公立大学:無し</p> <p>②はこだて未来大学:無し</p> <p>③弘前大学:有り</p> <p>④県立保健大学:無し</p> <p>⑤青森中央学院大学:無し</p>            |
| <p>(2)研究関連収入に関する目標を達成するための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学研究費補助金等の競争的資金の獲得増に向けて、教員の研究に関する情報をデータベース化し、競争的資金情報の収集、提供、申請の奨励に努め、年間5件程度の申請を目指す。</li> <li>・地域連携センターを中心に収集した国、自治体、財団、民間等の外部研究費等に関する情報を学内で共有し、外部資金の獲得増に努める。</li> </ul>                 | <p>◇外部資金獲得、外部資金活用を増やせるよう、研究シーズの取りまとめを行う。</p> | <p>ウェブサイトの教員データベースを活用し、最新の教員業績(研究シーズ)を取りまとめ、公開した。</p>   | B        | <p>教員データベース公開:<br/>H24.8月</p>   |

平成24年度 業務実績報告書

IV 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容   | 年度計画の内容  | 業務の実績(計画の進捗状況)   | 自己<br>評価 | 備考  |
|--|--|--|----------|---|
| (3) その他外部資金の獲得に関する目標を達成するための措置<br><br><ul style="list-style-type: none"> <li>外部資金獲得のための受け皿づくりを早急に進める。</li> <li>優れた教育プログラムを支援する競争的資金の獲得に努める。</li> <li>多様な情報網を活用し、寄附金等の積極的な獲得に努める。</li> <li>大学の施設、設備の貸出しによる収入増を図るため、施設使用料等の料金体系を細分化かつ柔軟化して利用しやすくし、随時改善に努める。</li> <li>知的財産の管理に関する利用、報償ルールを定め、個々の開発意識を喚起しながら、法人の収入増に努める。</li> <li>青森学術文化振興財団からの支援について、財団の設立の背景に鑑み、本学への財政支援の強化を求め、財源の確保に努める。</li> </ul> | ◇大学の施設、設備の貸出しに関する広報活動を継続する。                      | ホームページにて交流施設の貸出についての情報提供を推進するほか、貸出向けの施設紹介リーフレットを新規に作成するなど、交流施設のPRに努めた。 | A        | 交流施設(講堂、交流ホール、国際交流ハウス)  |
|  | ◇外部資金獲得に向け引き続き努力する。                              | 国際芸術センター青森のアーティスト・イン・レジデンス事業が、文化庁補助事業「文化芸術の海外発信拠点形成事業」に採択された。          | A        | ・5,000千円(H24)   |
|  | ◇優れた教育プログラムを支援する外部資金の獲得を継続する。                    | 産官学連携による人材育成事業が、文部科学省の補助事業に採択された。                                      | A        | 「産業界ニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」<br>・名称:産官学連携による地域・社会の未来を拓く人材の育成<br>・取組大学:本学を含む17大学 |
|  | ◇青森学術文化振興財団から継続した支援を得られるよう、研究等への取り組みなどを積極的に継続する。 | 財団からの資金に関する情報提供は、教職員に周知徹底を図り、申請率の向上に努めた。                               | A        | 申請件数:21件<br>(H23年度:15件)   |
| 2 経費の抑制に関する目標を達成するための措置<br><br><ul style="list-style-type: none"> <li>業務の集約化、簡素化を図り、経費の抑制に努める。</li> <li>業務の効率化のため、教学、図書、情報、地域連携等の各種システム間の連携を進める。</li> <li>情報システムの更新により、事務処理の効率化、迅速化を図る。</li> <li>法人化のメリットを活かし、入札の手續、契約年数、契約方法を積極的に見直すとともに、効率化が見込める業務については外部委託を推進する。</li> <li>財務状況の分析に基づき、柔軟な予算組替えと効率的な予算執行に努める。</li> </ul>   | ◇業務の見直しを進め、委託業務の合理化と集約化を継続する。                    | 経費抑制を図るため、次年度に向けた更なる複数の委託業務の一本化を図ることとした。                               | A        | ◆委託業務の一本化<br>・H24:自動ドア保守点検業務(大学院棟、交流ホール)<br>・H25:警備業務、清掃業務                    |
|  | ◇情報関連業務の効率化計画の実現に向けた作業を継続する。                     | 新情報システムを導入するために、システム関係資料の収集・整理を行い、導入方針の検討を行った。                         | B        |   |
|  | ◇効率的な予算執行に努めるために、財務状況の分析を継続する。                   | 3ヶ年の財務諸表から算出した財務指標及び月別の運用可能資金の状況について財務委員会に報告し、引き続き分析・検討することとした。        | B        | 財務委員会での検討(11/30)  |

平成24年度 業務実績報告書

IV 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容   | 年度計画の内容   | 業務の実績(計画の進捗状況)  | 自己<br>評価 | 備考   |
|--|---|---|----------|--|
| <b>3 資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置</b><br><br>・戦略的かつ柔軟な予算編成、執行等を可能とする体制づくりに努める。<br>・余裕資金の安全かつ効果的な運用を図る。<br>・固定資産の管理を効率的に行うため、平成22年度から資産管理システムを導入する。<br>・知的財産の管理、活用システムを平成23年度内に導入する。<br>・平成22年度内に資産の中長期的管理方針を定める。 | ◇資産の中長期管理方針について、具体的な実現に向けた検討を継続する。  | 3ヶ年の財務諸表から算出した財務指標及び月別の運用可能資金の状況について財務委員会に報告し、引き続き検討することとした。                            | B        | 財務委員会での検討(11/30)                               |
|  | ◇固定資産の管理について、既存の財務会計システムを活用し、バーコードによる固定資産の現物確認を実施し、引き続き適正な資産管理を行う。                      | 固定資産については、平成23年度に引き続き、既存の財務会計システムを利用して、バーコードによる確認を行った。                                  | B        | 9～10月実施  |
|  | ◇知的財産の管理、活用システムのあり方についての検討を継続する。  | 本学の規模や特性から個別対応で十分であり、知的財産を管理・活用するシステムを構築する必要はないとの結論から検討を継続しないこととした。                     | A        | ①第14回戦略会議にて審議・承認(11/14)<br>②第2回近況報告会で報告(11/20) |
|  | ◇目的積立金の安全かつ効果的な運用の検討に着手する。  | 目的積立金の状況については、毎年度、予算編成時及び決算報告時に財務委員会に報告しているところであり、資産運用全般の中で検討していくこととした。                 | B        | 財務委員会での検討(3/26)                                |
| <b>4 法人の財務を一元的に管理するための措置</b><br><br>・法人の財務を一元的に管理し、機動的な財務管理を行うため、平成21年度内に理事会の下に財務委員会を設置する。   | ◇財務委員会は、自主財源の増加、経費抑制の項目について、財務内容を改善するための方策を引き続き検討する。また、目的積立金については、より効果的な運用が図られるように管理する。 | 財務委員会において、予算及び決算の審議の中で自己収入及び外部資金獲得等、自主財源の確保についての検討を行った。目的積立金については、資産運用全般の中で検討していくこととした。 | B        | 財務委員会開催:3回(6/28、11/30、3/26)                    |
| IV 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画   |   |   |          |  |
| A: 年度計画を上回って実施している   |   |   | 6        | 100%   |
| B: 年度計画を十分に実施している  |   |   | 10       |  |
| C: 年度計画を十分には実施していない  |   |   |          |  |
| D: 年度計画を実施していない  |   |   |          |  |

平成24年度 業務実績報告書

IV 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容 | 年度計画の内容 | 業務の実績(計画の進捗状況) | 自己<br>評価 | 備考 |
|------------------|---------|----------------|----------|----|
|------------------|---------|----------------|----------|----|

| 特記事項   |  |  | 備考                                   |  |
|--|--|--|--------------------------------------|--|
| <p>「知的財産の管理、活用システムのあり方」の取り組みについては、本学の規模や特性から個別対応で十分であり、知的財産を管理・活用するシステムを構築する必要はないとの結論から検討を取りやめた。</p> |  |  | <p>この項目は検討又は実施しないと判断したため評価はAとした。</p> |  |

| 大項目評価(大項目の進捗状況)  |  |  | 備考 |  |
|--|--|--|----|--|
| <p>前年度に引き続き、国際芸術センター青森の「アーティスト・イン・レジデンス事業」が、文化庁の補助事業に採択されたほか、本学の産官学連携による人材育成事業が、文部科学省の補助事業(大学教育改革支援プログラム)に採択されるなど、外部資金の獲得に努めた。</p> |  |  |    |  |

平成24年度 業務実績報告書

V 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容   | 年度計画の内容   | 業務の実績(計画の進捗状況)   | 自己<br>評価 | 備考  |
|--|---|--|----------|---|
| <p>1 評価の充実に関する目標を達成するための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価委員会を平成22年度内に設置し直し、自己点検、自己評価を行う。</li> <li>平成23年度内に自己点検・評価の評価項目及び基準を策定する。</li> <li>平成23年度からの教員個々の目標設定による自己評価制度の実施に向け、平成21年度内に自己評価の基準づくりを行う。</li> <li>卒業生等の利害関係者の評価を受け、大学運営に反映させるよう努める。</li> <li>継続的に第三者の認証評価機関による定期的な評価を受け、評価結果をホームページ等で速やかに公表する。</li> </ul> | <p>◇外部認証評価結果に関する課題の検討に着手する。</p>                       | <p>外部認証評価結果に関する努力課題について、可能なものから順次、各種会議等において検討し、改善することとした。</p>        | B        | 実施済項目：学部学則、研究科学則の改正   |
|  | <p>◇教員個々の目標設定による自己評価制度の検討を継続する。</p>                   | <p>新たな自己評価としての教員業績評価の方法を、教育研究審議会、戦略会議において検討し、自己評価委員会にて実施した。</p>      | A        | 教育研究審議会(9/19)<br>戦略会議(9/26)<br>自己評価委員会(2/19)  |
| <p>2 評価結果の活用に関する目標を達成するための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理事会、経営審議会、教育研究審議会は、自己評価及び外部評価を受けて毎年改善策を策定するとともに公表し、法人経営、教育研究、地域貢献を推進する。</li> <li>中長期にわたる改善策については、次期中期計画に確実に反映させるよう努める。</li> <li>評価結果及び改善策について、教員職員及び事務職員がその情報を共有し、改善に向けた明確な意思を持たせてFD及びSD(職員の資質向上・能力開発のための取り組み)を実施する。</li> </ul>                              | <p>◇外部認証評価結果に関する改善策等を理事会、経営審議会、教育研究審議会等にて検討し策定する。</p> | <p>外部認証評価結果に関する努力課題について、各種会議等において検討・策定し、可能なものから順次、改善策を実施することとした。</p> | B        | 評価結果における努力課題：<br>①国際芸術センター青森の教育・研究との連携<br>②大学院後期課程での学位論文審査基準の明示<br>③大学院後期課程での退学後の博士学位取得について |
|  | <p>◇学内会議等での情報共有を進めるとともに、FD及びSDの充実を図る。</p>             | <p>情報共有を進めることで、教職員の意識啓発を向上させる目的から、FD・SDの合同研修を実施した。</p>               | B        | ①青森公立大学FD・SD研修「自己表現・評価トレーニング」(5/30)<br>②第2回FD研修会(3/11)<br>「1部：学部、2部：大学院」                    |
| <p>3 情報提供に関する目標を達成するための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法人の経営及び財務状況、大学の教育、研究及び地域貢献等に対する自己評価、外部評価並びにその改善策について、ホームページ及び広報紙を通じて毎年公表する。</li> <li>個人情報の保護に努めるとともに、外部からの情報開示の請求には迅速に対応し、透明性の確保に努める。</li> </ul>  | <p>◇自己評価及び外部認証評価等に対し、各種媒体を使った情報提供の強化に努める。</p>         | <p>ホームページにて、平成23年度の業務実績報告、外部認証評価結果の評価結果及びその改善策を公開している。</p>           | B        |   |

平成24年度 業務実績報告書

V 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容                        | 年度計画の内容 | 業務の実績(計画の進捗状況)      | 自己<br>評価 | 備考   |
|---|---------|---------------------|----------|------|
| V 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画 |         |                     |          |      |
|   |         | A: 年度計画を上回って実施している  | 1        | 100% |
|   |         | B: 年度計画を十分に実施している   | 4        |      |
|   |         | C: 年度計画を十分には実施していない |          |      |
|   |         | D: 年度計画を実施していない     |          |      |

| 特記事項                                | 備考 |
|-------------------------------------|----|
| 進捗は概ね順調であるが、FD及びSD研修のより一層の強化が必要である。 |    |

| 大項目評価(大項目の進捗状況)  | 備考 |
|--|----|
| 前年度に実施した財団法人大学基準協会の外部認証評価結果に関する努力課題についての検討を行い、可能な項目から改善した。また、教員の自己評価の方法についての検討を行うとともに、新たな自己評価制度を設けて実施した。 |    |

平成24年度 業務実績報告書

VI その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容  | 年度計画の内容                                     | 業務の実績(計画の進捗状況)   | 自己<br>評価 | 備考  |
|---|---|--|----------|---|
| <p>1 施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育内容に応じた施設や設備の整備、改良を計画的に進める。</li> <li>・サテライト施設の利活用について、今後の方向性を検討する。</li> <li>・既存の施設や設備の維持修繕及び補修を適切に行い、機能の維持に努める。</li> <li>・施設の利用需要に柔軟に対応できるよう、貸出し基準等を平成21年度内に定め、施設の有効活用及び地域貢献を図るとともに、自主財源の確保に努める。</li> </ul>   | <p>◇施設の貸出基準を整理し、施設の有効活用を図り、自主財源の確保に努める。</p> | <p>他大学の事例も参考としながら、具体的な貸出基準や要綱等の作成に向けた準備を進めた。</p>                       | C        | <p>◆現在の貸出対象施設: 交流施設(①講堂、②交流ホール、③国際交流ハウス)<br/>◆想定される新たな貸出対象施設: ①教室、②体育館、③テニスコート等</p> |
|   | <p>◇教育課程の改革に伴う施設・設備の改善計画の策定を継続する。</p>       | <p>施設・設備の利用頻度や修繕状況、係る経費などの総合的な状況確認を行い、緊急性の観点から、計画的な修繕計画の作業を実施している。</p> | B        | <p>◆大規模修繕計画<br/>自動火災報知設備改修工事<br/>H24: 第1期工事<br/>H25: 第2期工事<br/>(12,397千円)</p>       |
|   | <p>◇サテライトの有効活用を維持し充実させるための取組みを継続する。</p>     | <p>アウガにある「まちなかラボ」において、大学院のゼミ、地域研究センターの公開講座等を実施し、サテライトの活用の充実を図っている。</p> | B        | <p>◆公開講座: 6事業<br/>◆ゼミ: (春学期)9科目 / 133コマ、(秋学期)8科目 / 101コマ</p>                        |
| <p>2 安全管理に関する目標を達成するための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災関連機関との連携のもと、危機管理及び連絡体制を整備するとともに、防災訓練を毎年1回は実施する。</li> <li>・学生の健康管理のため、毎年1回健康診断を行うほか、健康相談を実施する。</li> <li>・職員の健康管理のため、毎年1回健康診断を行うほか、健康増進指導に努める。</li> <li>・法令に基づく学内安全管理体制を保持し、所要の改善を行い安全衛生の確保に努める。</li> <li>・学内の情報システムに係る管理保護体制を構築し、ソフトウェアの不正使用防止や情報セキュリティの向上に努める。</li> </ul> | <p>◇情報システムのあり方の検討を継続する。</p>                 | <p>新情報システムを導入するために、システム関係資料の収集・整理を行い、導入方針の検討を行った。</p>                  | B        |   |
|   | <p>◇危機管理体制のあり方の検討に着手する。</p>                 | <p>入試や留学の個別の緊急対応マニュアルを作成し、運用するなど、危機管理マニュアルを見直す検討に着手した。</p>             | B        |   |

平成24年度 業務実績報告書

VI その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画

| 中期計画<br>実施事項及び内容   | 年度計画の内容                       | 業務の実績(計画の進捗状況)  | 自己<br>評価           | 備考  |
|--|-------------------------------|---|--------------------|---|
| <p>3 人権啓発に関する目標を達成するための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種ハラスメントによる人権侵害を抑制するため、防止体制及び相談体制を見直し、強化を図る。</li> <li>ハラスメントの事例の提示を含め、人権に関する啓蒙活動を実施する。</li> </ul> | ◇ハラスメント対策強化のための具体策に着手する。      | これまで本学では具体的な事件は起きてないものの、ハラスメント対策の更なる改善強化に向け、他大学等の事件などの参考事例収集に努めた。 | B                  | ハラスメント防止対策委員会(3/13)   |
| <p>4 法令遵守に関する目標を達成するための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年度内に教職員倫理綱領を定めるとともに、法令遵守の意識を高揚する研修を行う。</li> </ul>   | ◇学内外における法令遵守の研修プログラムの実施を継続する。 | 財務・会計等を中心とした法令遵守に関する学内外での研修プログラムに職員を参加させた。                        | B                  | 職員の参加実績(H24)<br>①会計セミナー研修:5人<br>②大学職員セミナー:9人<br>③新採用職員事前研修:3人 |
| VI その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画   |                               |   |                    |   |
|  |                               |   | A:年度計画を上回って実施している  |   |
|  |                               |   | B:年度計画を十分に実施している   | 6   |
|  |                               |   | C:年度計画を十分には実施していない | 1   |
|  |                               |   | D:年度計画を実施していない     |   |
|  |                               |   |                    | 86%   |

| 特記事項 | 備考 |
|------|----|
|      |    |

| 大項目評価(大項目の進捗状況)  | 備考 |
|--|----|
| 施設の貸出基準の整備については、運用までに至らなかったため、平成25年度中の開始に向けての取り組みが必要である。 |    |